

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010100		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	敬老事業		予算事業名	敬老事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室				
施策名(中)		高齢者の生きがいづくりと社会参加を推進する		担当課長	小西 まこと	担当者名	川戸 沙紀		
取組み事項		生きがいづくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市百歳翁(媪)敬彰要綱、相生市敬老祝金支給要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	最高齢者、最高齢夫婦、百歳到達者、9月15日現在で77歳(喜寿)を迎えた市民、80歳到達者							
	誰(何)を対象として	長寿を祝福する							
	意図(どのような状態にしたいのか)	生きがいを感じてもらう							

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・市の最高齢者及び最高齢夫婦を祝福。9月に市長訪問、祝品の贈呈(初年度のみ) ・百歳到達者を祝福(市長訪問、祝金贈呈) ・80歳到達者記念写真撮影 ・9月15日現在77歳(喜寿)を迎えた方に祝金を支給 					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	最高齢者、最高齢夫婦祝福	件	0	1	1	1	
	百歳到達者祝福	件	12	11	21	14	
	77歳(喜寿)祝福	件	403	455	438	437	
	80歳到達者記念写真	件	251	217	240	351	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.264	0.272	103	0.176	65	0.272	155	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,408,664	2,391,788	99	1,675,349	70	2,388,645	143	
	事業費	5,440,930	5,942,926	109	6,213,769	105	6,790,000	109	
	合計	7,849,594	8,334,714	106	7,889,118	95	9,178,645	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		5,942,926	-	6,213,769	105	6,790,000	109	
	一般財源	7,849,594	2,391,788	30	1,675,349	70	2,388,645	143	
合計	7,849,594	8,334,714	106	7,889,118	95	9,178,645	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標説明(式)		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	351	350	99.7	315	90.0	351	111.4	
	実績	251	217	86.5	240	110.6			
指標名2		喜寿祝支給件数							
指標説明(式)		喜寿(77歳)祝支給件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	420	470	111.9	450	95.7	437	97.1	
	実績	403	456	113.2	438	96.1			

【効率性】

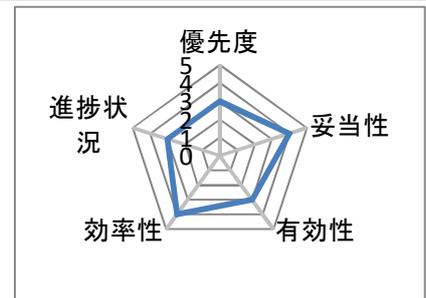
指標名1		祝福1件当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/延件数(実績)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7906	8097	102.4	8554	105.6	8112	94.8	
	実績	8169	8676	106.2	8877	102.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	核家族化や地域共同体の希薄化等により、長寿を祝ってもらう機会のない高齢者も増加している。行政が祝福する意義はあると考える。	3
	上位施策への貢献度	敬老事業の機会に高齢者の在住確認が出来る。	
効率性	コストの節減	H17の88歳(米寿)の支給の廃止、H18の99歳(白寿)の支給廃止により、支給コストは低減したが、80歳到達記念写真の復活により増。H29年度において、77歳の祝品の削減、100歳の祝金の減額をおこなった。	4
	手段の最適性	市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	80歳到達記念写真の実績が対象者の約7割となっている。内容の検討をしていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	80歳到達者の祝方法について、実施方法及び内容を引き続き検討する。

配点	32.5
総合評価	22

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010200		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	高齢者教育事業		予算事業名	高齢者教育事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		高齢者の生きがいがづくりと社会参加を推進する			担当課長	桑名 雅彦	担当者名	山本 健太	
取組み事項		生きがいがづくりを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民							
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる							

2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	金ヶ崎学園大学	回数	14	14	12	14	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.112	0.116	104	0.116	100	0.156	134	
	臨時職員	0.440	0.440	100	0.440	100	0.438	100	
支出内訳	人件費	2,394,488	2,450,444	102	2,353,949	96	2,159,349	92	
	事業費	1,374,620	1,164,020	85	1,180,140	101	1,313,000	111	
	合計	3,769,108	3,614,464	96	3,534,089	98	3,472,349	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,494,000	1,403,000	94	1,316,000	94	1,460,000	111	
	一般財源	2,275,108	2,211,464	97	2,218,089	100	2,012,349	91	
	合計	3,769,108	3,614,464	96	3,534,089	98	3,472,349	98	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生							
指標説明(式)		学園生人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	550	550	100.0	550	100.0	550	100.0	
	実績	512	480	93.8	447	93.1			
指標名2		金ヶ崎学園大学年間延参加者数							
指標説明(式)		年間延参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	8000	8000	100.0	8000	100.0	8000	100.0	
	実績	6873	6600	96.0	5731	86.8			

【効率性】

指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	271868	275816	101.5	272560	98.8	248025	91.0	
	実績	269222	258176	95.9	294507	114.1			

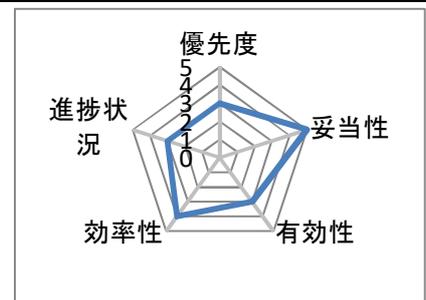
指標名2		学園生一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷学園生人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6920	7020	101.4	6937	98.8	6313	91.0	
	実績	7361	7530	102.3	7906	105.0			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	幅広い講座を開催し、受講生の社会教育の支援を行った。	3
	期待する目標	高齢者が気軽に集い、参加しやすい学習活動の場や機会をつくり、積極的な地域社会活動への参加を促す。	
効率性	コストの節減	参加募集チラシは庁内印刷にするなどコストの節減に努めている。	4
	手段の最適性	現在、講座後に謝礼を現金で渡しているが、一律口座振り込みによる事務の簡素化を図る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	学習を通して地域のリーダーとして活躍いただけるような意識付けをする。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに応えるため、参加しやすい日程で開講している。

配点	32.5
総合評価	23.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	生涯学習課が事務局として企画運営する形から、学園生が主体となって運営を行う形への移行を促進する。				
見直事項	専門講座の内容や講師を見直し、マンネリ化を防ぐ。また、受講意識を高めるために、受講生の希望に沿った講座内容にしていく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301020100		事業の種類	5	
年度	1	事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業		予算事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者の生きがいがづくりと社会参加を推進する		担当課長	小西 まこと	担当者名 杉本 裕美
		取組み事項	社会参加と交流を促進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法 在宅福祉事業費補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	誰(何)を対象として	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいがづくりを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を行い、高年クラブの目的達成を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高年クラブ連合会…連合会の広報活動、交通安全活動、一人暮らし等への声かけ運動、清掃奉仕活動費等への補助、健康づくり活動や文化教養活動の実施委託を行っている。単位クラブ…清掃活動、友愛訪問、健康づくり活動、子育て相談等の事業に対する補助。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	助成対象単位クラブ数	クラブ	21	20	20	20	
	助成対象クラブ会員数	人	1064	977	942	885	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.248	0.236	95	0.164	69	0.174	106	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,285,176	2,124,164	93	1,586,669	75	1,653,939	104	
	事業費	3,084,376	2,970,817	96	2,958,335	100	3,044,000	103	
	合計	5,369,552	5,094,981	95	4,545,004	89	4,697,939	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,308,000	1,255,000	96	1,253,000	100	1,308,000	104	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,061,552	3,839,981	95	3,292,004	86	3,389,939	103	
合計	5,369,552	5,094,981	95	4,545,004	89	4,697,939	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成対象単位クラブ数							
指標説明(式)		助成対象単位クラブ数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
クラブ	目標	22	20	90.9	20	100.0	20	100.0	
	実績	21	20	95.2	20	100.0			
指標名2		助成対象クラブ会員数							
指標説明(式)		助成対象クラブ会員数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1100	977	88.8	942	96.4	885	93.9	
	実績	1064	977	91.8	942	96.4			

【効率性】

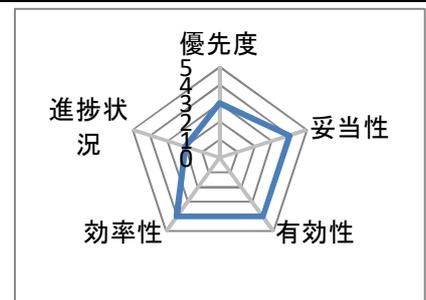
指標名1		クラブ会員一人あたりの費用							
指標説明(式)		事業費/クラブ会員数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2848	3127	109.8	3245	103.8	3439	106.0	
	実績	2898	3040	104.9	3140	103.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数が減少傾向にある中で、令和元年度は市内企業と提携し会員証の提示で優待特典つけてもらう新規会員証作成事業、SNSを使った加入促進(インスタグラム)等も行い、団塊世代への取り込みにも力を入れた。	4
	市民サービス	高年クラブの活動強化により集いの場や助け合いのつながりが増加し(令和元年度 生き百の新規立ち上げ3カ所)地域の共助力が向上し、地域住民の福祉向上が期待できる。	
効率性	手段の最適性	活動内容を適宜見直し、高年クラブの魅力アップを図り新規会員の増加を図る必要がある。	4
	執行体制の効率性	事業計画等の作成により、広く会員の意見が反映される仕組みづくりが必要。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数が減少傾向にあり、高年クラブ未加入者に対し、新しい取り組みを行い、加入促進を図る必要がある。



配点	32.5
総合評価	22

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高年クラブ未加入の方向けに、高年クラブの活動の参加や体験できる機会をもうけ、加入促進につなげたい。(スポーツ大会、世代交流福祉大会等)

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	会員数が減少傾向にあるので、閉じこもりがちな高齢者に高年クラブの活動に参加、体験する事業などの新しい取り組みを実施し、積極的な加入促進事業を行い、クラブ活動の充実を図り加入促進を図る必要がある。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010100		事業の種類	7	
年度	1	事務事業名	老人福祉施設整備事業	予算事業名	老人福祉施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	小西 まこと	担当者名	富田 智美	
取組み事項		介護サービスを充実する	実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		老人福祉施設整備補助事業					
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則・相生市社会福祉法人の助成に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の老人福祉施設・市内高齢者					
	誰(何)を対象として	市内の老人福祉施設・市内高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	第7期介護保健事業計画を実現し、地域の高齢者が住み慣れた地域で生活継続できるよう、質の高い介護サービス基盤の整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人福祉施設事業者に対し、施設整備等に係る補助金を交付する。 市立の老人福祉施設の入所者の安全安心の生活を確保するため適切な施設の維持を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	認知症対応型グループホーム	件	1	0		0
	椿の園・耐震診断	件	0	0	1	0
	愛老園・エレベーター改修等	件	0	0	1	0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	件		1		0

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.160	0.112	70	0.109	97	0.112	103	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,605,992	1,202,348	75	1,180,219	98	1,189,125	101	
	事業費	43,178,000	11,093,220	26	26,550,400	239	11,000	0	
	合計	44,783,992	12,295,568	27	27,730,619	226	1,200,125	4	
財源内訳	国庫支出金	43,178,000	10,300,000	24		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,605,992	1,995,568	124	27,730,619	1,390	1,200,125	4	
合計	44,783,992	12,295,568	27	27,730,619	226	1,200,125	4		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域密着型(介護予防)サービス事業所の整備数(第7期)							
指標説明(式)		地域密着型サービス事業所の整備件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	1	1	100.0	0	0.0	0	-	
	実績	1	1	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

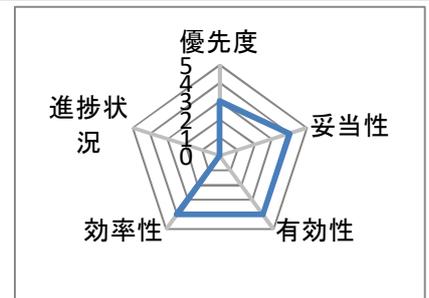
指標名1		市以外の財源の割合							
指標説明(式)		国・県の補助金／総事業費×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	0	0.0	0	-	
	実績	100	100	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	グループホームは、29年度に開設。30年度に定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備完了。令和元年度には、愛老園のエレベーター改修工事及び椿の園の耐震診断を実施。	4
効率性	負担割合の適正化	国(県)の助成制度により、地域密着型に関する補助率は10/10であるため、市の事業費は事務費・人件費のみである。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	椿の園の耐震診断により、安全性の確認がとれた。今回の検査により、煙突撤去の必要性が指摘されており、今後撤去工事を計画していく必要がある。



配点	32.5
総合評価	20

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	全庁的な施設整備(修繕等)計画が必要。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	ニーズ調査等により、適正な整備計画をたてる。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010200		事業の種類	1				
年度	1	事務事業名	介護保険総務管理事務		予算事業名	介護保険事業ほか		優先度	3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室				
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長			担当者名	富田 智美	
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
		実施計画事業名	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定							
		根拠法規及び関連法規	介護保険法							
事業の目的	誰のために(具体的に)		介護を必要とする高齢者等							
	誰(何)を対象として		支援を必要とする高齢者及び要介護認定者							
	意図(どのような状態にしたいのか)		介護保険制度を適正に実施していく							

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険制度を適正に実施していく為、必要なシステム改修などの総務管理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	事業費	円	16020142	14014870	11540154	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.448	0.152	34	0.192	126	0.180	94	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,828,776	1,499,708	39	1,793,589	120	1,698,921	95	
	事業費	16,020,142	14,014,870	87	11,540,154	82	13,734,000	119	
	合計	19,848,918	15,514,578	78	13,333,743	86	15,432,921	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,848,918	15,514,578	78	13,333,743	86	15,432,921	116	
合計		19,848,918	15,514,578	78	13,333,743	86	15,432,921	116	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

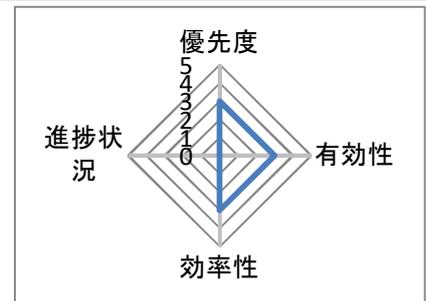
指標名1		高齢者1人当たりの事業費							
指標説明(式)		総事業費／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1595	1477	92.6	1339	90.7	1326	99.0	
	実績	1910	1492	78.1	1114	74.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険制度を適正に実施していく為、必要なシステム改修などの総務管理を行っている。	3
効率性	執行体制の効率性	長期継続契約の導入や、バーコード入りの宛名を使用することにより郵送代の削減等、費用の抑制に努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	介護保険制度を適正に実施していく為、必要なシステム改修などの総務管理を行っていく必要がある。



配点	25
総合評価	12

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	介護保険制度を適正に実施していく為、必要なシステム改修などを行う。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	引き続き、介護保険制度の適正な実施に努めていく。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010300		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	介護保険料賦課事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	小西 まこと	担当者名	藤田 達郎	
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		介護保険法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民							
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課							

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の賦課、通知を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	保険料賦課人数	人	10357	10365	10324	10200	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.316	0.276	87	0.456	165	0.452	99	
	臨時職員	0.080		0		-		-	
支出内訳	人件費	3,020,720	2,421,524	80	3,744,549	155	3,738,105	100	
	事業費	867,559	858,444	99	857,843	100	936,000	109	
	合計	3,888,279	3,279,968	84	4,602,392	140	4,674,105	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,888,279	3,279,968	84	4,602,392	140	4,674,105	102	
合計	3,888,279	3,279,968	84	4,602,392	140	4,674,105	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者人口/相生市人口							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	35	35	100.0	35	100.0	35	100.0	
	実績	34.67	34.95	100.8	35.56	101.7			
指標名2		保険料(普通徴収)徴収率							
指標説明(式)		普通徴収収納額/普通徴収調定額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	91.81	92.66	100.9	92.21	99.5			

【効率性】

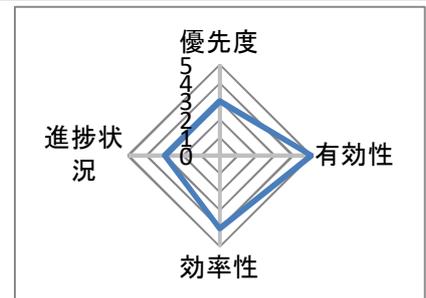
指標名1		保険料賦課状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		事業費/保険料賦課人員							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	95	90	94.7	90	100.0	90	100.0	
	実績	84	83	98.8	83	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	納入通知書送付時に文書を同封することにより、保険料算定方法等について周知を行った。また、納付書納付の人には、給付制限に関するチラシを同封することにより、徴収率の向上を目指した。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に賦課を行った。	
効率性	手段の最適性	65歳到達時の保険証発送時に口座振替の依頼書を同封して、口座振替利用者の増加を目指した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	保険料の徴収率を上げることが課題である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	保険料や被保険者証送付時のチラシを改善し、保険料の利用目的や制度の周知を図ることにより納付意識を高め、徴収率の向上を目指す。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	保険料率の見直しの年であるため、周知を図る。また、変更に伴い問い合わせが増加すると予測できるので、丁寧な対応に努める。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010400		事業の種類	1					
年度	1	事務事業名	介護認定審査会事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室					
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと		担当者名	川戸 沙紀		
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
		実施計画事業名									
		根拠法規及び関連法規	介護保険法								
事業の目的	誰のために(具体的に)		介護を必要とする高齢者等								
	誰(何)を対象として		介護を必要とする高齢者等								
	意図(どのような状態にしたいのか)		介護認定審査の適正な実施								

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険認定審査会を開催し、要介護判定を行い、要介護認定結果を通知する。									
活動実績	項目	単位	29年度実績		30年度実績		1年度実績		2年度計画		
	要介護認定審査件数		件	1581	1481	1660	1665				

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93		
	参事以下職員	0.785	0.502	64	0.403	80	0.788	196		
	臨時職員	0.320		0		-		-		
支出内訳	人件費	7,272,622	4,101,608	56	3,352,879	82	6,257,097	187		
	事業費	2,475,820	2,452,000	99	2,463,500	100	2,585,000	105		
	合計	9,748,442	6,553,608	67	5,816,379	89	8,842,097	152		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	9,748,442	6,553,608	67	5,816,379	89	8,842,097	152		
合計	9,748,442	6,553,608	67	5,816,379	89	8,842,097	152			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		平均介護認定事務処理日数								
指標説明(式)		延べ介護認定事務処理日数 / 認定審査件数								
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
日	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0		
	実績	31	31	100.0	34	109.7				
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

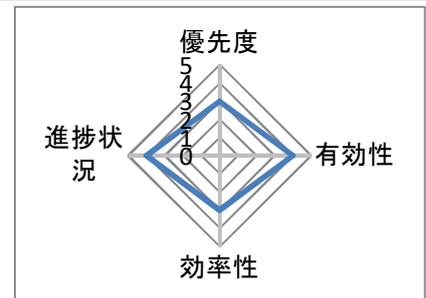
指標名1		認定審査状況(1件当たりの審査費)							
指標説明(式)		(目)介護認定審査会費/審査件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1197	1667	139.3	1648	98.9	1552	94.2	
	実績	1565	1655	105.8	1484	89.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から認定までの業務を概ね適正に処理できている。処理日数が目標日数をこえたケースもあるため処理方法など今後も検討が必要。	4
	成果の向上	申請時期や適正な申請について適宜窓口での案内を行っている。	
効率性	執行体制の効率性	年2回合同審査会を開催し、合議体毎の審査基準の平準化を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	介護認定の適正化(認定の不要な人への案内)



配点	25
総合評価	17

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新任の審査会委員については、研修を受講してもらい、スキルアップを図ってもらう。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	引き続き、適正な介護認定に努める。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010500		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	認定調査事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	小西 まこと		担当者名	川戸 沙紀
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		介護保険法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等							
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等							
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定調査の適正な実施							

2 事業の概要 Do

実施の概要		要介護認定申請を受け、要介護認定調査を実施する							
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画			
	介護認定調査員	人	9	9	8	9			
	要介護認定調査	件	1676	1560	1695	1777			

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.100	0.040	40	0.140	350	0.560	400	
	臨時職員	3.116	3.078	99	2.869	93	3.017	105	
支出内訳	人件費	9,350,456	9,190,082	98	8,725,259	95	8,958,635	103	
	事業費	13,490,151	12,911,172	96	14,209,488	110	15,609,000	110	
	合計	22,840,607	22,101,254	97	22,934,747	104	24,567,635	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,840,607	22,101,254	97	22,934,747	104	24,567,635	107	
合計	22,840,607	22,101,254	97	22,934,747	104	24,567,635	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護認定調査件数							
指標説明(式)		介護認定調査件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2160	1600	74.1	1698	106.1	1777	104.7	
	実績	1676	1560	93.1	1695	108.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

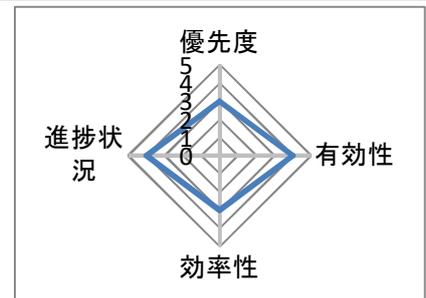
指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8500	10573	124.4	8900	84.2	8784	98.7	
	実績	8049	8276	102.8	8383	101.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から調査までの業務を概ね適正に処理出来ている。 人員確保により処理日数の短縮が図れている。	4
	成果の向上	新人調査員の研修受講、月一回の会議において注意事項の確認、調査員間での内容確認作業の実施等により、より適正な調査となっている。	
効率性	執行体制の効率性	平成28年度に引き続き、調査員の確保により調査の体制は安定していた。	3
	コストの節減	平成29年度より実施している総合事業において、認定を受けなくても簡単なチェックリストのみでサービスを受けれる仕組みにしたことにより、認定件数の削減につながった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	状態が安定していない等、調査時期が適切でないケースがあった。



配点	25
総合評価	17

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	認定調査員自らが、調査結果の点検を行い、適正な認定調査に努め、調査員のスキルアップを図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010600		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	介護保険給付事務	予算事業名	介護保険事業ほか	優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	小西 まこと	担当者名	中本 光早子
		取組み事項	介護サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護サービス利用者					
	誰(何)を対象として	介護サービス利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となった者が有する能力に応じた、必要な介護サービスの利用					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険給付情報を管理し、介護サービス費等を支給する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	認定者数	人	1672	1733	1750	2042
	保険給付費総額	円	2509688190	2511431644	2566285554	2676242000

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.480	0.435	91	0.488	112	0.448	92	
	臨時職員	0.160		0		-		-	
支出内訳	人件費	4,497,192	3,603,530	80	3,981,029	110	3,708,117	93	
	事業費	2,509,688,190	2,511,431,644	100	2,566,285,554	102	2,676,242,000	104	
	合計	2,514,185,382	2,515,035,174	100	2,570,266,583	102	2,679,950,117	104	
財源内訳	国庫支出金	592,763,732	593,512,788	100	603,010,372	102	615,747,000	102	
	県支出金	368,366,000	377,917,000	103	377,194,076	100	395,760,000	105	
	市債			-		-		-	
	その他	1,253,580,402	1,226,072,901	98	1,243,647,895	101	1,292,500,000	104	
	一般財源	299,475,248	317,532,485	106	346,414,240	109	375,943,117	109	
	合計	2,514,185,382	2,515,035,174	100	2,570,266,583	102	2,679,950,117	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり保険給付費総額/年間							
指標説明(式)		保険給付費総額(=事業費)/認定者数(年度末)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1415728	1381192	97.6	1331010	96.4	1310598	98.5	
	実績	1501010	1449182	96.5	1466449	101.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

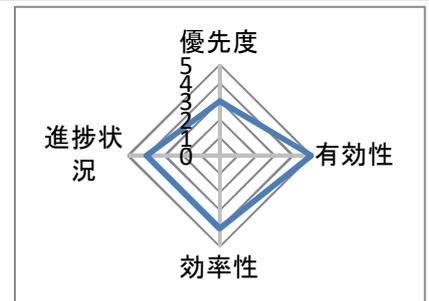
指標名1		高齢者一人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費総額／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	259616	251887	97.0	257403	102.2	260487	101.2	
	実績	241548	241646	100.0	247807	102.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	要介護認定者、給付費とも事業計画の計画値の範囲内で推移しており、適正な制度管理を行っている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	介護保険法に基づき適正な介護サービス費の支給を行った。	
効率性	コストの節減	高齢化率や要介護認定者数は増加傾向にあるが、適正な介護サービスの利用を呼び掛けることにより、事業費は減少している。また、早期より介護サービスを利用される人の増加により一人当たりの事業費も減少している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業所への実施指導や監査、ケアプランチェック等の適正化を行い、介護給付費の適正化を図る。



配点	25
総合評価	19

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な点検体制を構築し、給付費の適正化を図っていく。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	指導時の文書削減を図り、実地指導の所要時間を短縮することにより、事業所と市双方の負担を軽減し、実地指導の実施頻度を増やしていく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010700		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	家族介護用品支給事業		予算事業名	家族介護用品支給事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと 担当者名 川戸 沙紀	
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護用品支給事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族					
	誰(何)を対象として	要介護4相当以上の寝たきりや認知症の高齢者を介護している市民税非課税世帯に該当する家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護用品を支給し、当該介護者又は寝たきり高齢者等の精神的、経済的負担を軽減					

2 事業の概要 Do

実施の概要		紙おむつ尿取りパットの介護用品代を年10万円の範囲内で支給する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	支給人数	人	7	10	12	13	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.060	0.052	87	0.032	62	0.064	200	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	834,192	756,308	91	611,189	81	829,269	136	
	事業費	368,423	653,201	177	675,800	103	1,300,000	192	
	合計	1,202,615	1,409,509	117	1,286,989	91	2,129,269	165	
財源内訳	国庫支出金	143,684	251,482	175	260,183	103	500,500	192	
	県支出金	71,842	125,741	175	130,091	103	250,250	192	
	市債			-		-		-	
	その他	81,053	150,236	185	155,434	103	299,000	192	
	一般財源	906,036	882,050	97	741,281	84	1,079,519	146	
	合計	1,202,615	1,409,509	117	1,286,989	91	2,129,269	165	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	13	10	76.9	12	120.0	13	108.3	
	実績	7	10	142.9	12	120.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

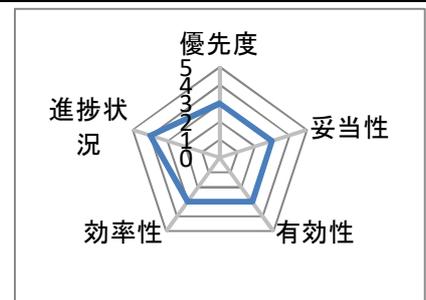
指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／支給人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	52632	65320	124.1	56317	86.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民税非課税世帯の内、要介護4相当以上の寝たきり高齢者等を介護している世帯は多くないので、支給者数は少ない。	3
	上位施策への貢献度	在宅生活の維持が図られる事によって、高齢者にとって住み慣れた地域での生活継続が、市にとっては施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	
効率性	手段の最適性	市が発行した給付券との引き換えにより納品する仕組みにより、不正受給の防止が図られている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者数が少ないため、実施について再検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	さらなる周知を図る必要がある。

配点	32.5
総合評価	20.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010800		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	家族介護慰労金支給事業		予算事業名	家族介護慰労金支給事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	川戸 沙紀
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護慰労金支給事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険サービスを使わずに、在宅で寝たきり相当の高齢者を介護している家族						
	誰(何)を対象として	過去1年間介護保険給付のサービスを利用することなく(7日以内のショートステイは除く)要介護4相当以上の高齢者を介護している家族						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者及び介護者に慰労金を支給することで介護にかかる精神的・経済的負担を軽減するとともに、家族介護が可能な家庭はできるだけそれを促すことで介護保険給付の軽減を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		家族介護慰労金年12万円支給する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	支給人数	人	1	1	1	2	

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.012	0.016	133	0.013	81	0.064	492	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	463,728	488,684	105	470,779	96	829,269	176	
	事業費	120,000	120,000	100	120,000	100	240,000	200	
	合計	583,728	608,684	104	590,779	97	1,069,269	181	
財源内訳	国庫支出金	46,800	46,200	99	46,200	100	92,400	200	
	県支出金	23,400	23,100	99	23,100	100	46,200	200	
	市債			-		-		-	
	その他	26,400	27,600	105	27,600	100	55,200	200	
	一般財源	487,128	511,784	105	493,879	97	875,469	177	
	合計	583,728	608,684	104	590,779	97	1,069,269	181	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

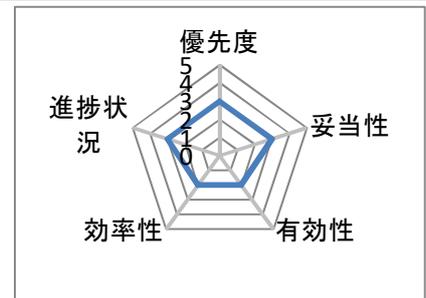
指標名1		人数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷支給人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	332897	354564	106.5	350982	99.0	534636	152.3	
	実績	583728	608684	104.3	590779	97.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活の支えとなるほどの補助額を出せるわけでは無く、施設整備・保険料の抑制にまで効果があるかは判断が難しい。	2
	成果の向上	支給実績の向上を図る必要がある反面、慰労金を得るために必要な介護が疎かにならないよう配慮する必要がある。	
効率性	手段の最適性	家族介護を促進するために、介護保険サービスを利用しなかった期間(1年間)と医療機関への入院期間を勘案しているが、要介護4以上の者が1年間介護サービスを使わないケースはまれである。	2
	負担割合の適正化	介護保険給付外の医療系サービス利用者は制度上対象者となるが、家族介護への慰労という主旨から介護系デイサービス利用者等との公平性について検討の必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性について検討が困難である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	制度利用者が少ない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	更なる制度の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	17.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	対象となり得る人はかなり少なく、医療系サービスの利用は勘案されない制度となっており、必要性も含めて検討が必要である。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010900		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	成年後見制度利用支援事業		予算事業名	成年後見制度利用支援事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西まこと	担当者名	中本光早子
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市成年後見制度利用支援事業実施要綱、相生市成年後見制度における市長による審判の請求に関する要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方						
	誰(何)を対象として	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	市長申立件数	件	0	0	4	3	

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.052	0.040	77	0.132	330	0.072	55	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	772,448	667,100	86	1,350,189	202	889,245	66	
	事業費	15,715	221,400	1,409	260,000	117	1,363,000	524	
	合計	788,163	888,500	113	1,610,189	181	2,252,245	140	
財源内訳	国庫支出金	6,129	85,239	1,391	100,100	117	524,755	524	
	県支出金	3,064	42,619	1,391	50,050	117	262,378	524	
	市債			-		-		-	
	その他	3,457	50,922	1,473	59,800	117	313,490	524	
	一般財源	775,513	709,720	92	1,400,239	197	1,151,622	82	
	合計	788,163	888,500	113	1,610,189	181	2,252,245	140	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立件数							
指標説明(式)		市長申立件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4	3	75.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	0	0	-	4	-			
指標名2		成年後見人等報酬助成制度利用人数							
指標説明(式)		成年後見人等報酬助成制度利用人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	0	1	-	1	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

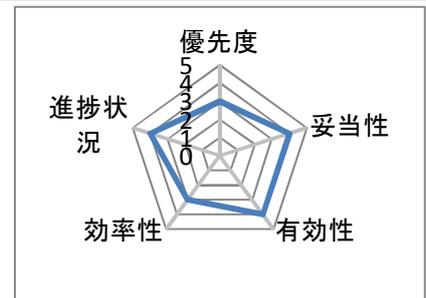
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	報酬の全部または一部の助成を受けなければ後見等の利用が困難な者を保護する事もできる事業であり、必要である。	4
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民へ制度の周知を行いながら、後見等の相談等に対応。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	成年後見制度の利用が必要な人を的確に把握し、迅速に対応する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨4市3町や西播磨成年後見支援センターと協力し、後見制度のさらなる普及啓発を図る。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	成年後見人に対する報酬助成は、市長申立に限っており、今後要件の見直しを検討していく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011000		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	介護給付費等費用適正化事業		予算事業名	介護給付費等費用適正化事業		優先度	4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	小西まこと	担当者名	中本光早子	
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な介護サービス提供体制の確保と介護サービスの質の向上							

2 事業の概要 Do

実施の概要		利用者がサービスを円滑に利用できるよう、要介護認定を適切に行い、サービス選択に対する支援、低所得者への支援を図る。必要な人に必要なサービスを提供するため、介護給付費等の適正化に取り組む。							
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画			
	給付費通知	回	3	3	3	3			
	ケアプラン点検	件	0	14	36	12			
	要介護認定審査件数	件	-	1481	1660	1665			

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.140	0.202	144	0.260	129	0.320	123	
	臨時職員		1.420	-	1.719	121	1.548	90	
支出内訳	人件費	1,451,632	5,803,388	400	6,679,559	115	5,011,677	75	
	事業費	551,406	3,893,976	706	4,869,035	125	6,642,000	136	
	合計	2,003,038	9,697,364	484	11,548,594	119	11,653,677	101	
財源内訳	国庫支出金	215,048	1,499,181	697	1,874,578	125	2,557,170	136	
	県支出金	107,524	749,590	697	937,289	125	1,278,585	136	
	市債			-		-		-	
	その他	121,309	895,615	738	1,119,878	125	1,527,660	136	
	一般財源	1,559,157	6,552,978	420	7,616,849	116	6,290,262	83	
合計	2,003,038	9,697,364	484	11,548,594	119	11,653,677	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付費通知1件当たりに対する給付費総額							
指標説明(式)		給付費総額/給付費通知発送料							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	7738	7565	97.8	7706	101.9	7393	95.9	
	実績	7748	7617	98.3	7697	101.1			
指標名2		平均介護認定事務処理日数							
指標説明(式)		延べ介護認定事務処理日数/認定審査件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	30	30	100.0	30	100.0			

【効率性】

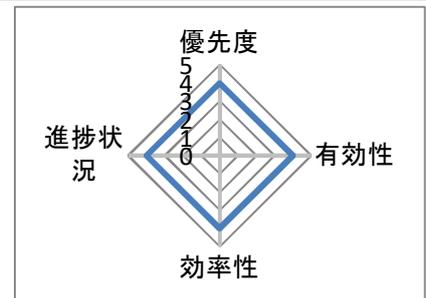
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自立支援型地域ケア会議において、ケアプランの内容も確認することにより、必要な人が必要なサービスを受けられるよう「自立支援」への意識を高め、ケアマネジメントの質の向上を図る。	4
	市民サービス	通知を送付することによって、実際の給付費がどれだけかかっているのかを確認してもらえ、給付費の抑制を促すことにつながっている。	
効率性	手段の最適性	介護保険制度について、実際に介護給付を受けている全ての対象者に対し通知を送付することで、制度の周知ができています。	4
	手段の最適性	平成30年度より、介護認定適正化調査員(パート)を採用し、職員の育成・スキルアップに取り組んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	介護認定適正化調査員だけでは、介護認定業務はカバーできず、職員がフォローしている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な点検体制を構築し、給付費の適正化を図っていく。

配点	25
総合評価	20

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011100		事業の種類	5	
年度	1	事務事業名	訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業		予算事業名	訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名 富田 智美
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内事業所の訪問看護師及び訪問介護員					
	誰(何)を対象として	利用者等からの暴力行為などの対策として2人体制での訪問が必要となる場合					
	意図(どのような状態にしたいのか)	訪問時の安全確保					

2 事業の概要 Do

実施の概要		訪問看護師・訪問介護員がサービスを提供する際、利用者等からの暴力行為などの対策として2人体制での訪問が必要となるケースで、利用者及び家族等の同意が得られず、介護報酬上の2人訪問加算が適用できない場合に、加算相当額の一部を補助する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	訪問介護	回	-	0	0	48
	訪問看護	回	-	0	0	40
	予防訪問看護	回	-	0	0	8

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.028	-	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員		0.016	-	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		488,684	-	492,949	101	469,413	95	
	事業費		0	-	0	-	115,000	-	
	合計		488,684	-	492,949	101	584,413	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	0	-	57	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		488,684	-	492,949	101	584,356	119	
合計		488,684	-	492,949	101	584,413	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助回数							
指標説明(式)		補助回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	0	-	48	-	48	100.0	
	実績	-	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

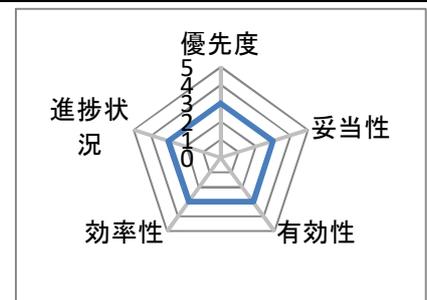
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	平成30年6月より事業開始。市内事業所へ事業の案内を送付。相生市のホームページにも掲載し、事業の啓発に努めた。	3
効率性	執行体制の効率性	実績はなかったが、潜在的なニーズはある。事業所にとって、必要があれば補助が受けれるという安心に繋がっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	令和元年度は実績なし。潜在的なニーズはあるため、対象事業所へ制度の案内をしていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	介護報酬の単価に合わすため、補助基準額の見直しを行う。

配点	32.5
総合評価	19.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	対象事業所への啓発				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011200		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	在宅介護緊急対策事業		予算事業名	在宅介護緊急対策事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	
					担当者名	富田 智美	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市定期巡回サービス事業者参入促進事業補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	24時間在宅サービスが必要な高齢者					
	誰(何)を対象として	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスに新たに参入する事業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業者の参入障壁となっている人件費の一部を助成し、利用者を一定確保するまでの安定運営を支援することで、多様な事業者の参入促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスに新たに参入する事業主体を対象に、事業者の参入障壁となっている人件費の一部を助成し、利用者を一定確保するまでの安定運営を支援することで、多様な事業者の参入促進を図る。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	補助金額	円	-	750000	3300000	3600000	
	月末利用者数(延べ)	人		3	47	50	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.028	-	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員		0.020	-	0.028	140	0.016	57	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		518,420	-	581,629	112	469,413	81	
	事業費		750,000	-	3,300,000	440	3,600,000	109	
	合計		1,268,420	-	3,881,629	306	4,069,413	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		375,000	-	1,500,000	400	1,800,000	120	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		893,420	-	2,381,629	267	2,269,413	95	
	合計		1,268,420	-	3,881,629	306	4,069,413	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数(延べ)							
指標説明(式)		定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの月末利用者数(延べ)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標		3	-	60	2000.0	50	83.3	
	実績		3	-	47	1566.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

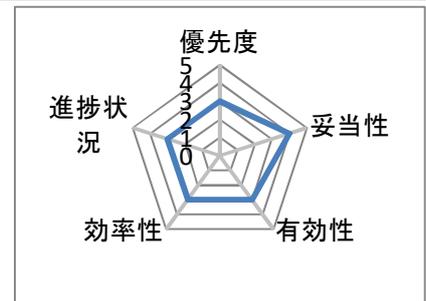
指標名1		利用人数あたりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費÷月末利用者数(延べ)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標		250000	-	60000	24.0	72000	120.0	
	実績		250000	-	70212	28.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	在宅生活を希望する重度化した高齢者を支えるサービスとしてニーズのあった「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」に、新規参入する事業所への人件費を補助している。	3
	成果の向上	ケアマネジャーや医療従事者向けに、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の理解を深める研修会を実施した。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助金制度に基づき、県1/2・市1/2の負担となっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	今後、在宅生活を支援する要のサービスとなりうると思われる。ケアマネジャー等の専門職にもサービスについて啓発していく。



配点	32.5
総合評価	21

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	在宅生活を支援する要のサービスとして、ケアマネジャー等の専門職にもサービスについて啓発していく。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	補助対象期間は、対象となる定期巡回サービス事業者の事業開始から3年を経過するまでの期間であり、令和3年12月までの補助となる見込み。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020100		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	しあわせ基金事業		予算事業名	しあわせ基金事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	小西 まこと	担当者名	杉本 裕美	
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市しあわせ基金条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者の福祉の向上							
	誰(何)を対象として	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会							
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会の高齢者在宅福祉の向上事業に対して補助金を交付する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉協議会、ボランティア協会及び高年クラブ連合会の実施する高齢者等送迎サービス、在宅介護者の会への支援事業等、在宅高齢者への支援事業に補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	リフトバス派遣回数	回	565	494	424	500	
	在宅介護者支援事業実施回数	回	22	22	21	22	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.096	0.112	117	0.120	107	0.140	117	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,112,040	1,202,348	108	1,261,509	105	1,399,041	111	
	事業費	1,356,000	1,468,000	108	1,368,000	93	2,757,000	202	
	合計	2,468,040	2,670,348	108	2,629,509	98	4,156,041	158	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,356,000	1,468,000	108	1,368,000	93	2,757,000	202	
	一般財源	1,112,040	1,202,348	108	1,261,509	105	1,399,041	111	
合計	2,468,040	2,670,348	108	2,629,509	98	4,156,041	158		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	600	600	100.0	600	100.0	500	83.3	
	実績	565	494	87.4	424	85.8			
指標名2		活動実績							
指標説明(式)		在宅介護者支援事業回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	22	22	100.0	21	95.5			

【効率性】

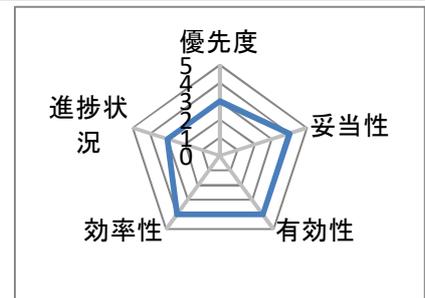
指標名1		活動実績の1件当たり補助金コスト(リフトバス)							
指標説明(式)		支出事業費÷リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1800	2394	133.0	895	37.4	3850	430.2	
	実績	1258	1326	105.4	1310	98.8			
指標名2		活動実績の1件当たり補助金コスト(在宅介護者支援事業)							
指標説明(式)		支出事業費÷在宅介護者支援事業							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8500	7954	93.6	5954	74.9	5954	100.0	
	実績	8895	5113	57.5	5357	104.8			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	移送に係る車両が老朽化しており、車検を通すことで1年度は購入を見送ったが、宝くじ財団の車両購入補助申請を行いながら2年度は購入に向けた動きをとる方向性が確定した。	4
効率性	手段の最適性	基金の運用益が事業費の一部にあてられている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	社会福祉協議会が2年度新たな移送事業を行うことから方向性を適宜見直す必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	次年度計画について、従来よりも前倒して、事業の方向性、事業内容について社会福祉協議会と連携をはかる。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020400		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	高齢期移行者医療費助成事業	予算事業名	高齢期移行者医療費助成事業	優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民生活部市民課		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	佐原	担当者名	小林
		取組み事項	介護予防などを推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名	高齢期移行助成事業				
		根拠法規及び関連法規	福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢期移行者医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	高齢期移行者医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	65歳から69歳の方で特別な配慮が必要な方が、病気やけがをして医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担の一部を助成し、高齢期移行者の経済的負担の軽減を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳から69歳の方で特別な配慮が必要な方の医療費の一部を助成する。(平成29年6月末に老人医療費助成事業を廃止し、平成29年7月に高齢期移行者医療費助成事業を新設。経過措置あり。)					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	助成費	円	15715900	10187662	6873187	8149000	
	現物給付額	円	14285688	9330685	6124996	7262000	
	平均受給者数	人	445	350	249	260	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.306	0.178	58	0.176	99	0.189	107	
	臨時職員	0.034	0.005	15	0.018	360	0.019	106	
支出内訳	人件費	2,822,376	1,706,837	60	1,721,249	101	1,794,172	104	
	事業費	15,715,900	10,187,662	65	6,873,187	67	8,149,000	119	
	合計	18,538,276	11,894,499	64	8,594,436	72	9,943,172	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,451,006	2,499,020	72	1,986,062	79	2,132,000	107	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,087,270	9,395,479	62	6,608,374	70	7,811,172	118	
合計	18,538,276	11,894,499	64	8,594,436	72	9,943,172	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たりの高齢期移行者医療費助成額							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	46154	41304	89.5	35897	86.9	31342	87.3	
	実績	35317	29108	82.4	27603	94.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

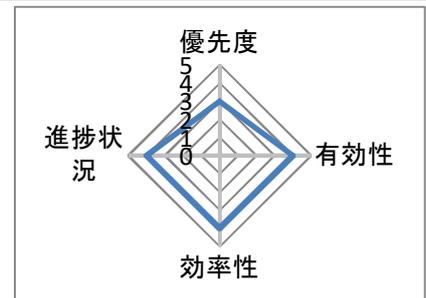
指標名1		1人当たりの現物給付額(変更した指標)							
指標説明(式)		現物給付額/平均受給者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	43300	37545	86.7	33077	88.1	27931	84.4	
	実績	32103	26659	83.0	24598	92.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	65歳から69歳の方で特別な配慮が必要な方に対し、1人当たり27,603円の経済的負担の軽減を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	条例、規則に基づき、適切に受給資格及び負担区分の認定を行い、福祉医療費の支給を行った。	
効率性	手段の最適性	福祉医療費として一部負担金を超える額を支給対象者に代わり保険医療機関に支払うことによって、支給対象者の窓口負担を1人当たり24,598円軽減できた。	4
	執行体制の効率性	国保年金係において国民健康保険と連携した対応ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	65歳から69歳の方で、特別な配慮が必要な方の疾病等について医療保険給付が行われた場合において、一部負担金を控除した額を支給している。(所得制限あり。)	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	国民健康保険、その他の公費負担医療制度との連絡調整を確実に実施し、よりの確に事務を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	係内・係外の連絡調整を確実に実施し、よりの確に事務を行うとともに、必要に応じて要領等を作成し、係員への周知徹底を図る。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	事務処理要領等を策定する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020500		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業		予算事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	佐原	担当者名	小林
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人鍼灸・マッサージ等施療費助成規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所を有する70歳以上(経過措置あり。令和元年度は66歳以上)の者					
	誰(何)を対象として	市内に住所を有する70歳以上(経過措置あり。令和元年度は66歳以上)の鍼灸等の施療を受けた者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に住所を有する70歳以上(経過措置あり。令和元年度は66歳以上)の者が鍼灸等の施療を受ける場合に要する費用の一部を助成し、これらの者の福祉の増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内に住所を有する70歳以上(経過措置あり。令和元年度は66歳以上)の者が鍼灸等の施療を受ける場合に要する費用の一部を助成する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	助成費	円	1886000	1724000	1448000	2520000
	助成回数	回	1886	1724	1448	2520
	申請者数	人	387	323	324	564
	年度末対象者数	人	10390	10000	9985	9985

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.038	0.016	42	0.009	56	0.013	144	
	臨時職員	0.050	0.005	10	0.015	300	0.011	73	
支出内訳	人件費	796,096	502,529	63	479,469	95	463,004	97	
	事業費	1,886,000	1,724,000	91	1,448,000	84	2,520,000	174	
	合計	2,682,096	2,226,529	83	1,927,469	87	2,983,004	155	
財源内訳	国庫支出金	1,065,558	852,509	80	954,679	112	0	0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,616,538	1,374,020	85	972,790	71	2,983,004	307	
合計	2,682,096	2,226,529	83	1,927,469	87	2,983,004	155		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象年齢人口に占める申請者数の割合							
指標説明(式)		申請者数/年度末対象者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	5.8	5.8	100.0	5.4	93.1	5.6	103.7	
	実績	3.7	3.2	86.5	3.2	100.0			
指標名2		1人当たりの助成回数							
指標説明(式)		助成回数/申請者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5.6	5.0	89.3	5.3	106.0	4.5	84.9	
	実績	4.9	5.3	108.2	4.5	84.9			

【効率性】

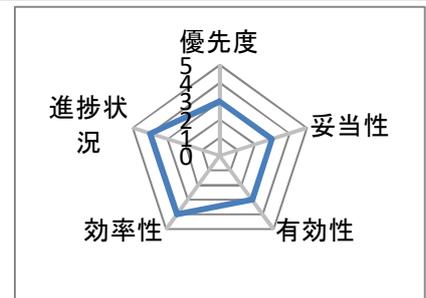
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用券の交付を受けた者に対し、1人当たり年4.5回(5,000円程度)の経済的負担の軽減を行うことができた。	3
効率性	手段の最適性	相生市指定施術所利用券を申請者に交付して、施療者に助成金の額を支払うことによって、利用者の窓口負担を1人当たり5,000円程度軽減できた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	第3期行財政健全化計画に基づいた年齢要件の段階的な引き上げ、その周知を行うなど、計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	対象年齢人口に占める申請者数の割合は減少している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	第3期行財政健全化計画に基づいた年齢要件の段階的な引き上げを行っているところであり、当分の間、計画通りに進める。

配点	32.5
総合評価	21.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	社会的公平を図る観点、当該事業の担う役割及び本市の財政事情等を踏まえ、事業の方向性を検討する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020600		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	高齢重度障害者医療費助成事業	予算事業名	高齢重度障害者医療費助成事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	佐原	担当者名	小林
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢重度障害者医療費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢重度障害者医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	高齢重度障害者医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	後期高齢者医療制度の被保険者で重度障害者の方が、病気やけがをして医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担の一部を助成し、これらの者の生活支援を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療制度の被保険者で重度障害者の方の医療費の一部を助成する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	助成費	円	26463734	26622235	28971177	29868000
	現物給付額	円	25666788	25704243	28050662	28918000
	平均受給者数	人	300	299	297	310

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.361	0.149	41	0.132	89	0.144	109	
	臨時職員	0.038	0.006	16	0.018	300	0.019	106	
支出内訳	人件費	3,257,402	1,494,020	46	1,396,089	93	1,456,807	104	
	事業費	26,463,734	26,622,235	101	28,971,177	109	29,868,000	103	
	合計	29,721,136	28,116,255	95	30,367,266	108	31,324,807	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	10,673,118	10,859,445	102	11,483,644	106	12,306,000	107	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,048,018	17,256,810	91	18,883,622	109	19,018,807	101	
合計	29,721,136	28,116,255	95	30,367,266	108	31,324,807	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たりの高齢重度障害者医療費助成額							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	93750	89655	95.6	93548	104.3	96348	103.0	
	実績	88212	89038	100.9	97546	109.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

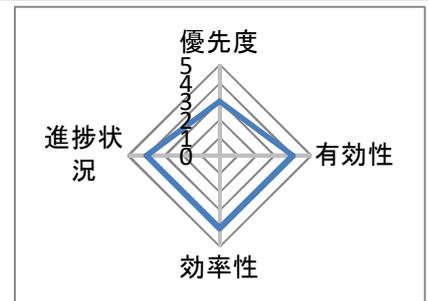
指標名1		1人当たりの現物給付額(変更した指標)							
指標説明(式)		現物給付額/平均受給者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	91200	86956	95.3	90645	104.2	93284	102.9	
	実績	85556	85967	100.5	94447	109.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	経済的・社会的に弱い立場にある高齢重度障害者に対し、1人当たり97,546円の経済的負担の軽減を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	要綱に基づき、適切に受給資格及び負担区分の認定を行い、福祉医療費の支給を行った。	
効率性	手段の最適性	福祉医療費として一部負担金を超える額を支給対象者に代わり保険医療機関に支払うことによって、支給対象者の窓口負担を1人当たり94,447円軽減できた。	4
	執行体制の効率性	国保年金係において後期高齢者医療保険と連携した対応ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	高齢重度障害者の疾病等について医療保険給付が行われた場合において、一部負担金を控除した額を支給している。(所得制限あり。)	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	障害要件等の確認を確実に実施し、よりの確に事務を行う必要がある。



配点	25
総合評価	18

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	障害要件等の確認を確実に実施し、よりの確に事務を行うとともに、必要に応じて要領等を作成し、係員への周知徹底を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	事務処理要領等を策定する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020900		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	老人短期入所運営事業		予算事業名	老人短期入所運営事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名 藤田 達郎
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市老人短期入所事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	身体的、社会的な理由で一時的に老人ホームでの援護が必要な高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣等の指導及び体調調整を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体的、社会的な理由で一時的に老人ホームでの援護が必要な高齢者に生活習慣等の指導及び体調調整を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	利用人数	人	2	3	1	5
	短期入所日数	日	7	29	9	45

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.056	0.068	121	0.048	71	0.048	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	803,320	875,252	109	729,429	83	709,317	97	
	事業費	43,496	140,516	323	57,726	41	213,000	369	
	合計	846,816	1,015,768	120	787,155	77	922,317	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	5,090	19,030	374	6,930	36	29,250	422	
	一般財源	841,726	996,738	118	780,225	78	893,067	114	
合計	846,816	1,015,768	120	787,155	77	922,317	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	2	3	150.0	1	33.3			
指標名2		短期入所日数							
指標説明(式)		短期入所日数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
日	目標	50	45	90.0	45	100.0	45	100.0	
	実績	7	29	414.3	9	31.0			

【効率性】

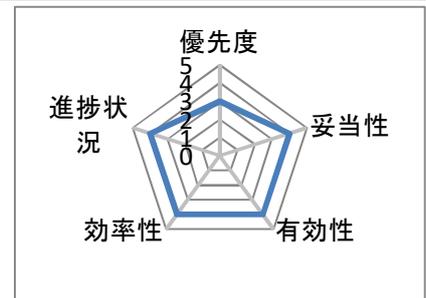
指標名1		1人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	47000	42600	90.6	42600	100.0	42600	100.0	
	実績	21748	46838	215.4	57726	123.2			
指標名2		1日当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/短期入所日数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4700	4733	100.7	4733	100.0	4733	100.0	
	実績	6213	4845	78.0	6414	132.4			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	養護老人ホームの空床を利用してサービス提供する事業で、入所者の入院等例え一時的にせよ空床が生じない限り利用に結びつかない。	4
	成果の向上	虐待等やむを得ない場合など緊急度の高い高齢者の安全な場所の確保としても活用できる。	
効率性	手段の最適性	高齢者虐待における世帯においては、分離を図る手段が有効であり、措置者たる市が事業実施する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	養護老人ホームとの情報共有などの連携の必要性。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	虐待案件などで緊急に、かつ慎重に対応が必要な場合が多いのでより密で正確な連携を図る。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021200		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	高齢者等住宅改造助成事業		予算事業名	高齢者等住宅改造助成事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと 担当者名 中本 光早子	
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者等住宅改造助成事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者及び心身障害者					
	誰(何)を対象として	日常生活を営む上で支障がある高齢者及び心身障害者が居住する住宅					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日常生活に支障をきたしている高齢者等の住宅を改造する費用を、世帯の課税状況に応じて、改造対象経費の3/1から10/10の額を助成する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	助成件数	件	23	17	13	23	

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.068	0.088	129	0.128	145	0.268	209	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	895,936	1,023,932	114	1,320,629	129	2,358,657	179	
	事業費	5,314,313	3,128,259	59	4,443,559	142	5,821,000	131	
	合計	6,210,249	4,152,191	67	5,764,188	139	8,179,657	142	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,652,000	1,559,000	59	2,213,000	142	2,900,000	131	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,558,249	2,593,191	73	3,551,188	137	5,279,657	149	
	合計	6,210,249	4,152,191	67	5,764,188	139	8,179,657	142	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	33	28	84.8	38	135.7	23	60.5	
	実績	23	17	73.9	13	76.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		件数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総経費/利用件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	245127	259366	105.8	347516	134.0	355637	102.3	
	実績	270011	244247	90.5	443399	181.5			

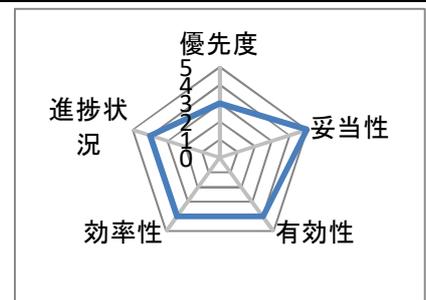
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険の住宅改修(限度額20万円)を超える工事が必要となるケースに支給され、段差解消等規模の大きい工事でも補助をうけることができる。	4
	市民サービス	身体状況に応じたバリアフリー改造を行うことで、在宅での生活を続けられる。	
効率性	コストの節減	工事内容により助成額は変化するが、現地調査時に専門家のアドバイスを受け、不要な工事は抑えられている。	4
	手段の最適性	県の補助制度に則って事業を実施している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	工事箇所ごとの限度額が撤廃されたことにより、助成額が大幅に増えている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	書類の精査により、補助対象工事費と対象外工事費を適切に処理する。

配点	32.5
総合評価	25.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021300		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	高齢者在宅生活支援事業		予算事業名	高齢者在宅生活支援事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	川戸 沙紀
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		・相生市訪問理・美容サービス事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅生活を望む高齢者						
	誰(何)を対象として	65歳以上のみの世帯・要介護2相当以上の者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		年6回を限度に理・美容師に出張整髪してもらうための交通費を補助する						
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画		
	延べ利用回数(理・美容)	回	8	6	7	12		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.040	0.024	60	0.012	50	0.004	33	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	679,832	548,156	81	463,389	85	379,449	82	
	事業費	28,000	24,000	86	26,000	108	48,000	185	
	合計	707,832	572,156	81	489,389	86	427,449	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	707,832	572,156	81	489,389	86	427,449	87	
合計	707,832	572,156	81	489,389	86	427,449	87		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用回数の増減(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	18	18	100.0	18	100.0	12	66.7	
	実績	8	6	75.0	7	116.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

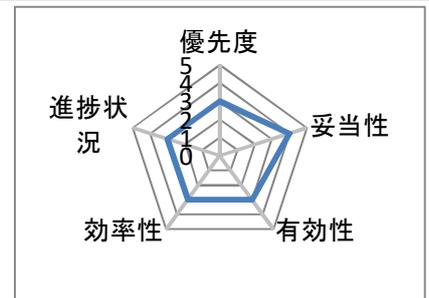
指標名1		1回あたりの事業コスト(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		事業費+人件費/利用回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	38611	25198	65.3	30077	119.4	35621	118.4	
	実績	101119	95359	94.3	69918	73.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者により利用回数は違うが、一定の数の利用はある。	3
	市民サービス	在宅生活を、支援している家族等の負担軽減、高齢者の心身のリフレッシュを図る上で必要である。	
効率性	手段の最適性	補助金は自宅訪問のための交通費相当額とし、理・美容サービス費は実費負担とすることとしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	制度利用者が少ない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	更なる制度の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	21

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021400		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	アイアイコール事業		予算事業名	アイアイコール事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	川戸 沙紀	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市アイアイコール事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	緊急時に119番通報が困難又は著しく時間のかかる高齢者					
	誰(何)を対象として	緊急性の高い疾病を有する一人暮らし高齢者や、日常生活動作に支障を来している重度身体障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	緊急時の生活不安を解消し、安心した在宅生活が送れるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	ひとり暮らしの高齢者等に、家庭内で緊急事態が発生した場合、ボタンひとつで受信センターへ連絡ができ、速やかに対象者の援護を図ることができる緊急通報機器の貸与を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	年度末時の設置台数	台	160	148	119	145
	緊急通報回数	回	15	9	21	10

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.092	0.132	143	0.060	45	0.072	120	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,081,168	1,351,028	125	818,109	61	889,245	109	
	事業費	3,078,756	2,751,624	89	2,429,594	88	2,770,000	114	
	合計	4,159,924	4,102,652	99	3,247,703	79	3,659,245	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,078,756	2,751,624	89	2,429,594	88	2,770,000	114	
	一般財源	1,081,168	1,351,028	125	818,109	61	889,245	109	
合計	4,159,924	4,102,652	99	3,247,703	79	3,659,245	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		設置台数(年度末時)							
指標説明(式)		設置台数(年度末時)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
台	目標	234	235	100.4	160	68.1	145	90.6	
	実績	160	148	92.5	119	80.4			
指標名2		緊急通報回数							
指標説明(式)		緊急通報回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	25	25	100.0	10	40.0	10	100.0	
	実績	15	9	60.0	21	233.3			

【効率性】

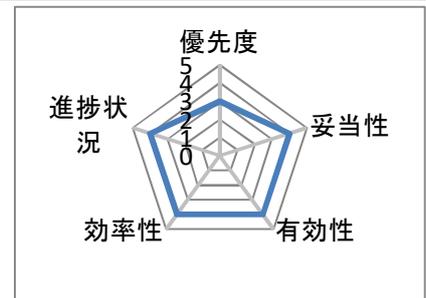
指標名1		利用者1件当たりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)/設置台数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17850	16217	90.9	20163	124.3	19103	94.7	
	実績	19242	18592	96.6	20417	109.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	委託事業者と市が情報法を共有するため、利用者の状況を把握しやすい。	4
	期待する目標	救急車による搬送につながった点において、緊急通報の手段として機能している。	
効率性	負担割合の適正化	市民税課税世帯には、設置費用の自己負担あり。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	補助員のなり手が不足している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	地域で支え合う大切さを普及させ、補助員になることへの拒否感を軽減させる。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	固定電話の利用率が低下している現状を踏まえ、固定電話以外への対応を検討する。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021500		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	お元気コール事業		予算事業名	お元気コール事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	小西 まこと	担当者名	川戸 沙紀	
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	75歳以上の一人暮らし高齢者							
	誰(何)を対象として	安否の確認を希望する75歳以上の一人暮らし高齢者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	定期的な電話を用いた安否確認により、一人暮らし生活の安心を得る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回、ひとり暮らしの高齢者宅に委託業者のオペレーターが電話をし、対象者の安否確認を図る。							
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画			
	利用人数	人	45	34	25	30			

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.084	0.180	214	0.088	49	0.104	118	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,019,424	1,707,860	168	1,025,029	60	1,129,149	110	
	事業費	647,046	404,357	62	305,890	76	352,000	115	
	合計	1,666,470	2,112,217	127	1,330,919	63	1,481,149	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	647,046	404,357	62	305,890	76	352,000	115	
	一般財源	1,019,424	1,707,860	168	1,025,029	60	1,129,149	110	
合計	1,666,470	2,112,217	127	1,330,919	63	1,481,149	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規利用申込者							
指標説明(式)		新規利用申込者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	5	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

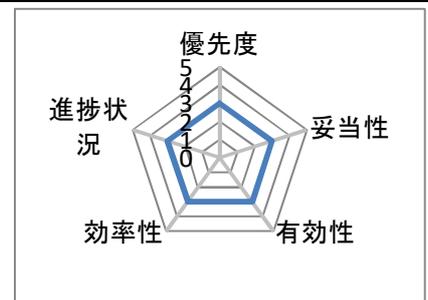
指標名1		利用者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)／利用者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12567	12500	99.5	13823	110.6	11733	84.9	
	実績	14378	11893	82.7	12236	102.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	電話回線が有ればサービスが利用できるため、効率的で簡単に利用できる。	3
	成果の向上	当事業が利用者の相談・雑談相手として機能している例もあるため、事務的な安否確認以上の成果があるといえる。	
効率性	手段の最適性	週1回で多数の利用者安否確認ができ、電話回線を活用する事が効率的である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね必要な方に浸透しており計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	週に一度と頻度が高いため、状況の変化に関する連絡が遅れると事業に支障をきたす恐れがある。



配点	32.5
総合評価	19.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	地域でのつながりを強化するため、事業委託を地縁団体へ円滑に意向できるよう調整を行う。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	高年クラブへの委託のほか実施方法等について検討していく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021600		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	ひとり暮らし老人名簿事業		予算事業名	優先度		3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	富田 智美
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人福祉法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市・民生委員						
	誰(何)を対象として	65歳以上の一人暮らし高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	実態調査により65歳以上の一人暮らし高齢者名簿を作成する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員の協力の下、年2回定期的に現地調査を行い、対象者情報のほか緊急時の連絡先を聴き取り調査し、ひとり暮らしの高齢者名簿を作成する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	ひとり暮らし高齢者数(年度末)	人	1647	1670	1622	1650	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.108	0.172	159	0.132	77	0.048	36	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,204,656	1,648,388	137	1,350,189	82	709,317	53	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,204,656	1,648,388	137	1,350,189	82	709,317	53	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,204,656	1,648,388	137	1,350,189	82	709,317	53	
合計	1,204,656	1,648,388	137	1,350,189	82	709,317	53		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ひとり暮らし高齢者数(年度末)							
指標説明(式)		ひとり暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1630	1650	101.2	1700	103.0	1650	97.1	
	実績	1647	1670	101.4	1622	97.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

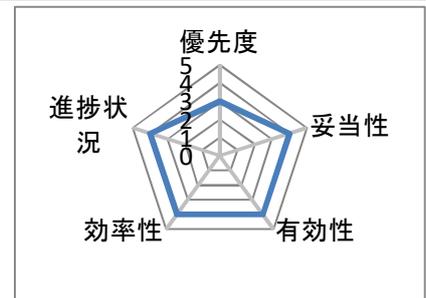
指標名1		名簿一人当たりの作成にかかる経費							
指標説明(式)		人件費/一人暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	726	1035	142.6	1177	113.7	430	36.5	
	実績	731	987	135.0	832	84.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員の協力による戸別訪問調査のため、名簿の正確性は高く、事業目的の達成度は高い。	4
	市民サービス	安否確認はじめ必要な方へ必要なサービスを行うことができ、市民サービスの向上に役立っている。	
効率性	コストの節減	民生児童委員の個別訪問によって作成しているため、事務的経費としてのコストは発生しない。	4
	手段の最適性	地域を知る民生児童委員の戸別訪問調査によって作成しているため、名簿の正確性は高く、最適の手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	民生児童委員の訪問を拒否される高齢者もあり、すべてのひとり暮らし高齢者の把握することは困難である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	気になる高齢者は、在宅介護支援センターや社会福祉協議会の専門職と連携し、必要な支援や見守りへ繋げるよう努める。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	民生児童委員と専門職の連携を強化するため、地区民協に専門職が定期的に出席していく。
見直し事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021800		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	老人保護措置事業		予算事業名	老人保護措置事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	小西 まこと	担当者名	藤田 達郎	
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、相生市老人ホーム入所措置等規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人ホームへの入所が必要な者							
	誰(何)を対象として	おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身の健康の保持及び生活の安定							

2 事業の概要 Do

実施の概要		おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者を措置し、生活の安定を図る。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	年度末入所者数	人	40	43	34	40	
	虐待対応に伴う措置入所者数	人	2	1	2	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.188	0.232	123	0.212	91	0.216	102	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,822,096	2,094,428	115	1,941,389	93	1,968,813	101	
	事業費	80,235,033	79,234,528	99	72,053,908	91	84,039,000	117	
	合計	82,057,129	81,328,956	99	73,995,297	91	86,007,813	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	13,710,002	15,091,504	110	12,954,715	86	13,746,000	106	
	一般財源	68,347,127	66,237,452	97	61,040,582	92	72,261,813	118	
合計	82,057,129	81,328,956	99	73,995,297	91	86,007,813	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入所人数							
指標説明(式)		入所人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	45	40	88.9	45	112.5	40	88.9	
	実績	40	43	107.5	34	79.1			
指標名2		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標説明(式)		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	2	1	50.0	2	200.0			

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/(入所人数)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	2048644	2240100	109.3	2066000	92.2	2100975	101.7	
	実績	2005875	1842663	91.9	2119232	115.0			

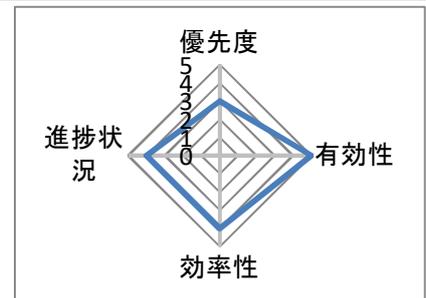
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	居宅において生活するのが困難な者を保護する事業で、セーフティーネットとして必要。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	居宅において生活するのが困難な者を措置し、心身の健康回復、生活の安定を図ることで、老人福祉法の保護措置の実現を図っている。	
効率性	手段の最適性	法第11条及び国県の技術的助言等により、適切な措置を行っている。	4
	執行体制の効率性	施設の空き情報を適宜把握するとともに、包括支援センター等関係機関と連携し、対象者の発見と速やかな保護措置ができる体制づくりを図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	問題点が多い入所者への対応。



配点	25
総合評価	19

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	関係機関、ケアマネジャーなどと協力関係、情報共有などを密にし、円滑かつ安全に在宅から施設につながる事が出来るように取り組む。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021900		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	予算事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法、社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業実施要綱、社会福祉法人等による生活困窮者に対する介護保健サービスに係る利用者負担額減免措置事業補助金					
事業の目的	誰のために(具体的に)	社会福祉法人等が提供する介護保険の施設サービス等(特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)を利用している者の内、低所得で生計困難な者					
	誰(何)を対象として	生計困難な低所得者を対象に利用者負担額の軽減を実施している社会福祉法人等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者負担額軽減実施の社会福祉法人等への助成により、施設サービス等を利用する高齢者の生活の安定と必要とする介護サービスの適正な実施を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者へ利用者負担軽減確認証を交付し、それを基に社会福祉法人が行った介護サービス費減額に対する補助金交付を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	減額認定証交付件数	人	3	3	3	2
	減額認定証利用件数	人	3	3	3	2
	施設への補助金額	円	58878	77731	32251	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.076	0.056	74	0.144	257	0.284	197	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	957,680	786,044	82	1,438,869	183	2,478,609	172	
	事業費	58,878	77,731	132	32,251	41	252,000	781	
	合計	1,016,558	863,775	85	1,471,120	170	2,730,609	186	
財源内訳	国庫支出金	43,000		0		-		-	
	県支出金		58,000	-	24,000	41	188,000	783	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	973,558	805,775	83	1,447,120	180	2,542,609	176	
合計	1,016,558	863,775	85	1,471,120	170	2,730,609	186		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり減免総額							
指標説明(式)		減免に対する補助金額/補助対象減免認定利用者件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	131000	131000	100.0	84000	64.1	84000	100.0	
	実績	19626	25910	132.0	32251	124.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

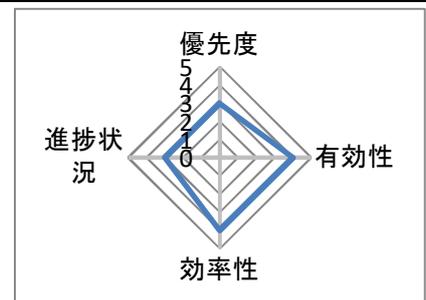
指標名1		一人当たり事業経費							
指標説明(式)		事業費÷減額認定証交付件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	131000	131000	100.0	84000	64.1	84000	100.0	
	実績	19626	25910	132.0	10750	41.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業の実施により、低所得者が介護保険サービスを利用しやすい環境づくりに有効である。	4
	成果目標(改善)達成度	負担軽減によって低所得者の施設入所等が行いやすくなるよう事業を実施しているが、利用者実績は低い。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助制度に則り実施しており、市の補助額の3/4相当額について県の補助金がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	社会福祉法人の積極的な制度への貢献体制が必要。



配点	25
総合評価	17

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	市内の社会福祉法人及びケアマネジャーへの更なる制度の周知に努める。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	市内の社会福祉法人への周知を行い、利用促進に努める。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022000		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	救急医療情報キット配付事業		予算事業名		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	川戸 沙紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市救急医療情報キット配付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康上不安を有する者					
	誰(何)を対象として	①65歳以上の者②障害者手帳を所持する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急搬送時に役立つ情報(既往症・服用している薬剤情報・血液型・かかりつけ医・親族等の連絡先)を入れたキットを保管し、もしものときの安全・安心を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		救急時に速やかな救急処置を図ることが出来るよう救急隊員及び搬送先病院に医療情報を伝えるためのキットを配付する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	配付件数	件	125	77	61	100

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.008	0.016	200	0.024	150	0.004	17	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	432,856	488,684	113	552,069	113	379,449	69	
	事業費			-		-		-	
	合計	432,856	488,684	113	552,069	113	379,449	69	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	432,856	488,684	113	552,069	113	379,449	69	
合計	432,856	488,684	113	552,069	113	379,449	69		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		配布件数							
指標説明(式)		配布件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	80	100	125.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	125	77	61.6	61	79.2			
指標名2		救急搬送時のキットの活用回数							
指標説明(式)		救急搬送時のキットの活用回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	3	1	33.3	3	300.0			

【効率性】

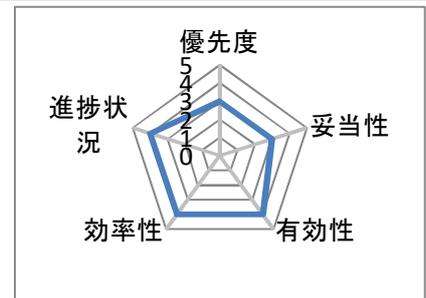
指標名1		救急医療情報キットの配布率							
指標説明(式)		配布件数の累計/4500(作成数)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	46.6	49.8	106.9	52.0	104.4	52.0	100.0	
	実績	47.6	49.3	103.6	49.3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例があり、高齢者の健康維持に役立っている。	4
	成果の向上	サービス内容が浸透したため、利用者が増加した。	
効率性	コストの節減	キットは数年間分をまとめて作成することで、単価の軽減を図っている。	4
	手段の最適性	キット1個当たりの経費は少なく、少ない経費で大きな安心安全の効果を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りにいっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	キットの中に記している情報が更新されておらず、緊急時に機能しない例がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	利用者に情報を更新してもらうよう、広報紙や民生委員を通じて呼びかける。

配点	32.5
総合評価	22.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直事項	キットに掲載している情報を、常に新しく有効なものにするよう利用者によびかける。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022100		事業の種類	1		
年度	1	事務事業名	高齢者保健福祉計画等策定に関すること		予算事業名			
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	富田 智美
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	有		
		主要事業の指定						
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、介護保険法 ↑事務事業名「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定に関すること」へ変更						
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員・市民						
	誰(何)を対象として	職員・市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の高齢者保健福祉及び介護保険に関する計画を策定し、高齢者保健福祉施策の充実を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者保健福祉及び介護保険に関する計画を3年ごとに策定し、施策の充実を図る。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	計画策定	件	1	0	0	1	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.180	0.180	100	0.160	89	0.220	138	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,760,352	1,707,860	97	1,557,109	91	1,998,801	128	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,760,352	1,707,860	97	1,557,109	91	1,998,801	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,760,352	1,707,860	97	1,557,109	91	1,998,801	128	
合計		1,760,352	1,707,860	97	1,557,109	91	1,998,801	128	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		数値での評価困難							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

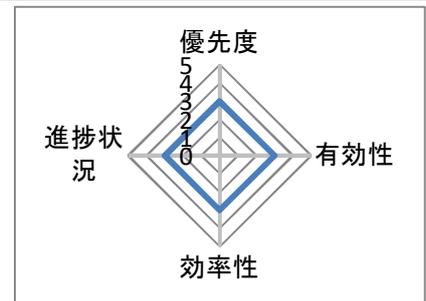
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	老人福祉法及び介護保険法に基づく必要な計画策定となっている。	3
効率性	執行体制の効率性	平成29年度に高齢者保健福祉計画を策定した。平成30年度から令和2年度までの事業を計画に基づき遂行している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	計画に対する定期的な進捗管理が必要。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	前年度にニーズ調査を実施できた為、分析等に時間をかけていく。また、今後地域づくりなどの観点から庁内連携が必要となるため、ヒアリング等を実施していく。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	ニーズ調査等より課題などを明確にし、適切な計画策定に努める。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022700		事業の種類	1		
年度	1	事務事業名	健康大学講座事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	藤本 理恵	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者						
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に関する意識の高揚を図り、要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者を対象に医学の専門医を講師に招き、健康(介護予防を含む)に関する講座を相生市医師会と共催で開催。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	回数	回	10	10	10	0
	人数	人	2028	2283	2291	0

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.088	110	0.088	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	1,093,912	1,075,220	98	1,127,029	105	1,067,677	95	
	事業費	400,000	400,000	100		0		-	
	合計	1,493,912	1,475,220	99	1,127,029	76	1,067,677	95	
財源内訳	国庫支出金	100,000	100,000	100	100,000	100	0	0	
	県支出金	50,000	50,000	100	50,000	100	0	0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,343,912	1,325,220	99	977,029	74	1,067,677	109	
合計	1,493,912	1,475,220	99	1,127,029	76	1,067,677	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2300	2300	100.0	2300	100.0	0	0.0	
	実績	2028	2283	112.6	2291	100.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

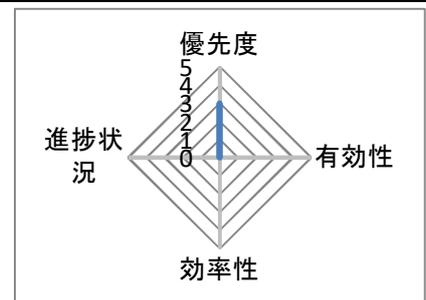
指標名1		1人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費/参加者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	544	648	119.1	640	98.8	0	0.0	
	実績	737	647	87.8	491	75.9			
指標名2		事業費の負担単価							
指標説明(式)		100,000円/回							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	0	0.0	
	実績	100000	100000	100.0	100000	100.0			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市文化会館大ホールにて、10回開催した。	
	市民サービス	健康に関する関心は高く、特に高齢者のニーズは高いと考えている。	
効率性	手段の最適性	講師の都合により木曜日の午後に、相生市文化会館中ホールにて、開催した。	
	コストの節減	相生市医師会と共催で開催。収容人員も充分にある相生市文化会館大ホールにて開催した。市の負担割合4回分相当額を負担。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定した10回の健康大学講座が開催できた。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	新規参加者が取り込めるような講座内容の検討も必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		新型コロナウイルス感染症により開催中止

配点	25
総合評価	6

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容					
重点事項	中止以前と同じ体制で引き続き実施していく。					
見直事項	講座内容については、関係団体と協議していく。					
新規事項						
方向	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>継続</td> <td>成果</td> <td>維持</td> <td>総コスト</td> <td>維持</td> </tr> </table>	継続	成果	維持	総コスト	維持
継続	成果	維持	総コスト	維持		

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023200		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	配食サービス事業		予算事業名	配食サービス事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	小西 まこと	担当者名	川戸 沙紀	
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市配食サービス事業実施要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	弁当の宅配と安否確認を必要とする高齢者							
	誰(何)を対象として	市民税非課税世帯に属する食事の準備がしにくい65歳以上の者及び重度障害者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	栄養バランスのとれた食生活が営めるように							

2 事業の概要 Do

実施の概要		見守りと栄養改善を目的に、委託業者による食事の宅配を行うとともに、対象者に対し、月20食を限度に1食あたり200円の助成券を支給する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	延べ利用食数	食	23235	21551	21606	22980	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.208	0.204	98	0.128	63	0.188	147	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,976,456	1,886,276	95	1,320,629	70	1,758,897	133	
	事業費	4,772,680	4,386,200	92	4,442,264	101	4,733,000	107	
	合計	6,749,136	6,272,476	93	5,762,893	92	6,491,897	113	
財源内訳	国庫支出金	1,861,345	1,688,687	91	1,710,271	101	1,822,205	107	
	県支出金	930,672	844,343	91	855,135	101	911,102	107	
	市債			-		-		-	
	その他	1,049,989	1,008,826	96	1,021,720	101	1,088,590	107	
	一般財源	2,907,130	2,730,620	94	2,175,767	80	2,670,000	123	
	合計	6,749,136	6,272,476	93	5,762,893	92	6,491,897	113	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用食数							
指標説明(式)		延べ利用食数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
食	目標	28704	28575	99.6	26460	92.6	22980	86.8	
	実績	23235	21551	92.8	21606	100.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

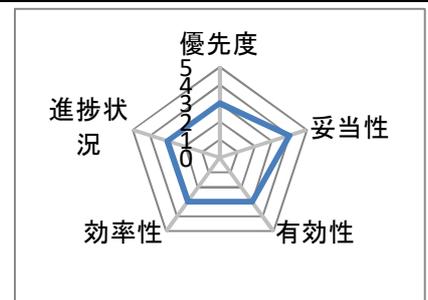
指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費／延べ利用回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	252.2	256.7	101.8	275.8	107.4	282.5	102.4	
	実績	290.5	291.0	100.2	266.7	91.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活が維持されることによって、住み慣れた地域での高齢者の生活継続が、本市にとって施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	3
効率性	手段の最適性	親族による家事援助等を促すため、月20食を限度にサービスを提供しているが、手助けが得られない場合を考慮すると、月20食の限度の見直しの検討は必要。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	認知症等により、配食券を紛失してしまうケースがある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	民生委員やケアマネジャーと連携し、確実に配食サービスが受けられるよう調整していく。

配点	32.5
総合評価	21

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	補助の方法(助成券のままですか)				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023300		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	認知症高齢者サポート事業		予算事業名	認知症高齢者サポート事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	中本 光早子
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		「認知症サポーター等養成事業の実施について」(平成18年7月12日老計発第0712001号厚生労働省)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を患った方及びその家族						
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所・学校に通勤されている方						
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症の方を発見しケアできる社会環境を整備し、認知症を患っても本人および家族が安心して生活できるようにする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		キャラバンメイト養成研修を受講した講師により、地域住民・職場・学校・団体等を対象に認知症サポーター養成講座を開催する。また、フォローアップ講座を年1回開催する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	認サポ開催回数	回	19	34	21	30
	認サポ延べ受講者数	人	657	846	685	700

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.232	0.316	136	0.352	111	0.272	77	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,161,688	2,718,884	126	2,975,989	109	2,388,645	80	
	事業費	133,790	361,615	270	288,335	80	306,000	106	
	合計	2,295,478	3,080,499	134	3,264,324	106	2,694,645	83	
財源内訳	国庫支出金	52,178	139,222	267	111,009	80	117,810	106	
	県支出金	26,089	69,611	267	55,504	80	58,905	106	
	市債			-		-		-	
	その他	29,433	83,171	283	66,317	80	70,380	106	
	一般財源	2,187,778	2,788,495	127	3,031,494	109	2,447,550	81	
	合計	2,295,478	3,080,499	134	3,264,324	106	2,694,645	83	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催回数の増減							
指標説明(式)		認知症サポーター養成講座開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	20	30	150.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	19	34	178.9	21	61.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

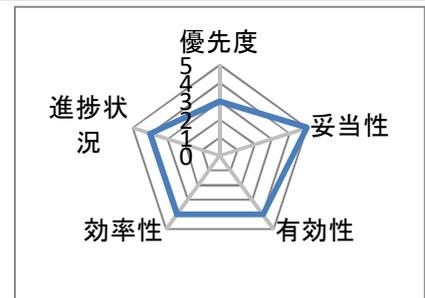
指標名1		受講者数の増減							
指標説明(式)		延べ受講者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	500	700	140.0	700	100.0	700	100.0	
	実績	657	846	128.8	685	81.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症についての正しい知識を普及するとともに、サポーターが増える事で認知症の方やその家族の暮らしやすい環境が整備できる。	4
効率性	コストの節減	講師を務めるキャラバン・メイトは無報酬であり、低コストで認知症サポーターの養成ができています。	4
	執行体制の効率性	講師役をつとめるキャラバン・メイトについても、近隣や県の研修に受講案内し、メイトの数も増えている。認知症サポーター養成と合わせキャラバンメイトの養成は不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	若い世代にも受講してもらうようにアプローチする。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	さらなるスキルアップに向けて研修を実施する。

配点	32.5
総合評価	25.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	認知症サポーターとしての活動できる場の把握とマッチング等、チームオレンジの整備を検討していく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023400		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	後期高齢者医療保険事業		予算事業名	後期高齢者医療保険事業ほか 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	佐原	担当者名 小林
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、兵庫県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例、相生市後期高齢者医療に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療制度被保険者					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療制度被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	被保険者証等の引渡し、医療給付に関する申請及び届出の受付等を適切に処理し、後期高齢者が安心して医療を受けることができ、安心して生活ができるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療制度被保険者の資格の管理に関する申請及び届出の受付、被保険者証等の引渡し、被保険者証等の返還の受付、医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し、保険料に関する申請の受付等				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	諸受付件数	件	2913	3194	3147	3300

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	1.836	2.188	119	1.916	88	1.869	98	
	臨時職員	0.111	0.100	90	0.326	326	0.344	106	
支出内訳	人件費	14,833,734	16,912,232	114	15,365,249	91	14,864,282	97	
	事業費	465,666,023	984,890,872	212	1,040,282,408	106	1,122,533,000	108	
	合計	480,499,757	1,001,803,104	208	1,055,647,657	105	1,137,397,282	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	68,775,607	73,286,526	107	76,049,604	104	87,036,000	114	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	411,724,150	928,516,578	226	979,598,053	106	1,050,361,282	107	
合計	480,499,757	1,001,803,104	208	1,055,647,657	105	1,137,397,282	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

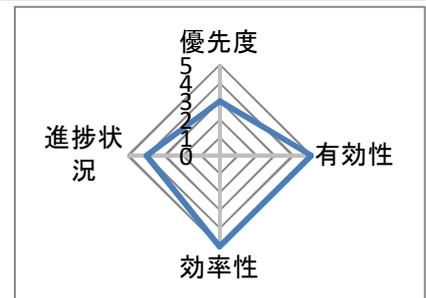
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	後期高齢者医療制度被保険者の医療給付に関する申請及び届出の受付等を、3,147件適切に処理した。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	兵庫県後期高齢者医療広域連合条例、規則等に基づき、被保険者証等の引渡し、医療給付に関する申請及び届出の受付等を適切に処理した。	
効率性	手段の最適性	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約に定められた事務を、広域連合が策定した事務要領に基づき処理している。	5
	執行体制の効率性	国保年金係において、国民健康保険、高齢重度障害者医療費助成事業と連携した対応ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約に定められた事務を処理している。(独自事業なし。)	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	国民健康保険、高齢重度障害者医療費助成事業との連絡調整を確実に実施し、よりの確に事務を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	国民健康保険等との連絡調整を確実に実施し、よりの確に事務を行うとともに、必要に応じて要領等を作成し、係員への周知徹底を図る。

配点	25
総合評価	20

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	事務処理要領等を策定する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023500		事業の種類	1		
年度	1	事務事業名	介護予防推進講座事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	藤本 理恵	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)						
	誰(何)を対象として	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防活動に関心を持ち、自ら健康の維持増進を実践することで健康寿命の延伸を図ることができる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		栄養士・歯科衛生士が地域における通いの場等に出向き、フレイル予防に関する講話を1回あたり概ね30～40分実施する。実施回数は年間30か所、3年間(R1～R3)で90か所実施予定とす。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	開催回数	回	15	15	56	60
	実参加者数	人	80	62	509	510
	延べ参加者数	人	281	264	779	780

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080	0.060	75	0.132	220	0.220	167	
	臨時職員	0.020		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,041,232	815,780	78	1,350,189	166	1,998,801	148	
	事業費	290,477	263,574	91		0		-	
	合計	1,331,709	1,079,354	81	1,350,189	125	1,998,801	148	
財源内訳	国庫支出金	332,927	269,839	81	337,548	125	499,701	148	
	県支出金	166,463	134,920	81	168,774	125	249,851	148	
	市債			-		-		-	
	その他	665,855	539,677	81	675,095	125	999,401	148	
	一般財源	166,464	134,918	81	168,772	125	249,848	148	
合計		1,331,709	1,079,354	81	1,350,189	125	1,998,801	148	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者の延べ人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	300	100.0	300	100.0	780	260.0	
	実績	281	264	94.0	779	295.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

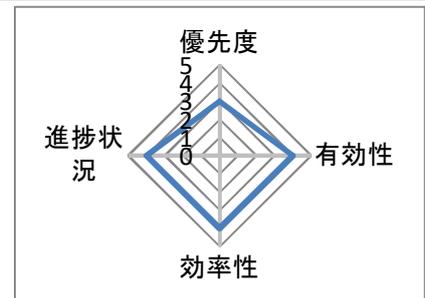
指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	71583	78383	109.5	0	0.0	33314	-	
	実績	88780	89947	101.3	24111	26.8			
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	20	100.0	0	0.0	14.0	-	
	実績	18.7	17.6	94.1	14.0	79.5			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者募集型から、既存グループの活動の場に出向いていく形式に実施方法等を変更し開催。これまでより多くの参加者を得ることができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の視点に即した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	既存の通いの場等を活用して実施することで、毎回一定数の参加者が確保され、より多くの方に介護予防に関する普及啓発が行えた。	4
	執行体制の効率性	年度を通して事業の目標実施回数が達成できるよう、講座に出向く医療専門職と各通いの場代表及び関係団体との連携をはかり、日程調整等行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調にすすんでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	講座の内容を参加者に日常生活で継続して実践してもらうことが必要である。



配点	25
総合評価	18

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	各専門職の講話に加え、フレイル(予防)全体についての内容も講座に含めることで、参加者のフレイル予防に関する意識の向上を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	フレイル予防に関する知識の普及啓発を継続して行っていく。				
見直事項	講座の参加者のフレイル予防に関する理解度の確認や実践状況を確認していく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023600		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	高齢者見守り事業		予算事業名	高齢者見守り事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名 中本 光早子
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を含む高齢者					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所で勤務されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症の人を含めた高齢者の事前登録、日頃の見守り、緊急時(搜索)の見守りを目的として「見守りSOSネットワーク」の構築を推進する。また、介護者に対し徘徊高齢者等家族支援サービス(GPSの初期費用の補助)を実施する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	事前登録者	人	27	26	28	20
	協力機関登録	団体	1	0	9	5
	行方不明者搜索依頼	件	1	0	1	0

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.310	0.288	93	0.268	93	0.148	55	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,763,692	2,510,732	91	2,355,229	94	1,459,017	62	
	事業費	41,244	60,399	146	60,937	101	76,000	125	
	合計	2,804,936	2,571,131	92	2,416,166	94	1,535,017	64	
財源内訳	国庫支出金	16,085	23,253	145	23,461	101	29,260	125	
	県支出金	8,043	11,627	145	11,730	101	14,630	125	
	市債			-		-		-	
	その他	9,074	13,892	153	14,016	101	17,480	125	
	一般財源	2,771,734	2,522,359	91	2,366,959	94	1,473,647	62	
	合計	2,804,936	2,571,131	92	2,416,166	94	1,535,017	64	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事前登録者の増減							
指標説明(式)		あんしん見守り事業(事前登録者)の登録者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	27	26	96.3	28	107.7			
指標名2		徘徊高齢者等家族支援サービス利用者							
指標説明(式)		徘徊高齢者等家族支援サービスの新規登録者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
団体	目標	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	1	4	400.0	5	125.0			

【効率性】

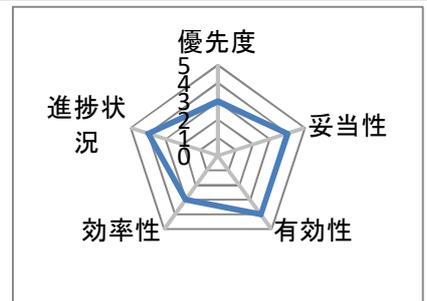
指標名1		事前登録者の割合							
指標説明(式)		事前登録者／高齢者人口							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	0.00194	0.00192	99.0	0.00193	100.5	0.00195	101.0	
	実績	0.00260	0.00250	96.2	0.00270	108.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする。	4
	成果の向上	地域で見守り声かけ訓練を実施し、SOSネットワークの普及啓発、認知症の人を地域で見守る体制づくりに努めた。	
効率性	コストの節減	事前登録者に配布する「見守りグッズ」は、平成27年予算で一括購入することにより、経費削減を図った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	見守りSOSネットワーク関係機関、協力機関に事業内容及び役割を再認識してもらう必要がある。



配点	32.5
総合評価	23

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	地域での見守り体制を構築してもらうために、継続して見守り声かけ訓練を実施する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023900		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業		予算事業名	介護予防・生活支援サービス事業		優先度	5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	小西 まこと	担当者名	杉本 裕美	
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	居宅要支援被保険者・事業対象者							
	誰(何)を対象として	居宅要支援被保険者・事業対象者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	要支援・要介護状態になることをできるだけ予防し、高齢者自身の力を活かした自立に向けた支援をする。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		居宅要支援被保険者及び事業対象者が高齢者自身の力を活かした自立に向けた支援をすることを目的に、訪問型サービス・通所サービスを行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	事業対象者数	人	114	181	151		
	サービス件数(訪問型+通所型)	件	3717	4207	3996		
	事業費(訪問型・通所型・ケアマネジメント)	円	74436013	84342427	82649224		

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.300	0.306	102	0.272	89	0.276	101	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,686,512	2,644,544	98	2,384,789	90	2,418,633	101	
	事業費	64,685,937	73,699,327	114	72,965,304	99	89,203,000	122	
	合計	67,372,449	76,343,871	113	75,350,093	99	91,621,633	122	
財源内訳	国庫支出金	16,171,484	18,424,831	114	18,241,326	99	22,300,750	122	
	県支出金	8,085,742	9,212,415	114	9,120,663	99	11,150,375	122	
	市債			-		-		-	
	その他	32,342,969	36,849,663	114	36,482,652	99	44,601,500	122	
	一般財源	10,772,254	11,856,962	110	11,505,452	97	13,569,008	118	
合計	67,372,449	76,343,871	113	75,350,093	99	91,621,633	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業対象者数							
指標説明(式)		事業対象者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	120	125	104.2	250	200.0	180	72.0	
	実績	114	181	158.8	151	83.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

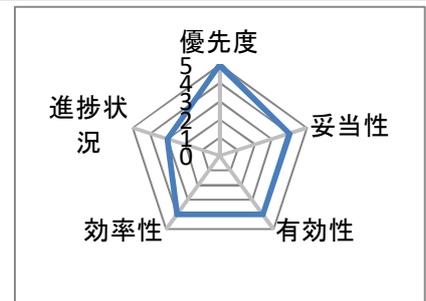
指標名1		1件あたりの事業費							
指標説明(式)		事業費(訪問型+通所型+ケアマネジメント)/実績件数(訪問型+通所型)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標		18000	-	20553	114.2	21023	102.3	
	実績	20025	20048	100.1	20682	103.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	高齢者が日常生活において不便が生じても自宅での生活を継続するために有効なサービスである。	4
効率性	コストの節減	地域支援事業実施要綱(国)を基に、内容及び基本単位の設定を行い、旧介護予防訪問介護・介護予防通所介護に比べ、約2~3割低額とした。	4
	手段の最適性	住民主体のサービスの実施を進めることで、総合事業の充実を図る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	住民主体のサービスの実施を進めるにあたり、市、生活支援コーディネーター、住民と連携をはかることが重要。



配点	32.5
総合評価	27

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	事業が円滑に進むよう、新規で立ち上げを行う団体と密に連携を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	住民主体による活動をより充実させるため、生活支援コーディネーター、住民、市との密な連携をはかることが重要。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	拡大

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302024000		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	介護予防把握事業	予算事業名	介護予防把握事業	優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	小西 まこと	担当者名	中村 美香
		取組み事項	介護予防などを推進する	実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法第115条の45第1項第2号					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の者とその家族					
	誰(何)を対象として	心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握を実施した高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活機能の低下が確認され、何らかの支援が必要と認められるときは、介護予防活動への参加勧奨を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域包括支援センターへ委託し、65歳以上の人の自宅を訪問し、心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握するとともに、介護ニーズ等の評価を行い、生活機能の低下が確認され、支援が必要と認められるときは、介護予防活動への参加勧奨を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	実態把握訪問	名	143	173	179	150	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.020	0.024	120	0.052	217	0.024	46	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	525,472	548,156	104	758,989	138	529,389	70	
	事業費	3,000,000	3,000,000	100	3,000,000	100	3,000,000	100	
	合計	3,525,472	3,548,156	101	3,758,989	106	3,529,389	94	
財源内訳	国庫支出金	750,000	750,000	100	750,000	100	750,000	100	
	県支出金	375,000	375,000	100	375,000	100	375,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他	1,500,000	1,500,000	100	1,500,000	100	1,500,000	100	
	一般財源	900,472	923,156	103	1,133,989	123	904,389	80	
	合計	3,525,472	3,548,156	101	3,758,989	106	3,529,389	94	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実態把握者数							
指標説明(式)		担当地区である旭地区の高齢者を実態把握する為訪問した人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	150	150	100.0	150	100.0	150	100.0	
	実績	143	173	121.0	179	103.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

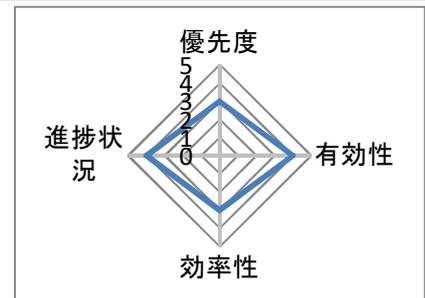
指標名1		訪問対象者1件あたりの委託料							
指標説明(式)		事業費÷実態把握者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	20979	17341	82.7	16759	96.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	80歳到達者や80歳以上高齢者のみ世帯等を抽出し訪問することで、生活機能の低下などがみられ、何らかの支援が必要な高齢者に早期に対応できている。	4
効率性	手段の最適性	包括職員が訪問することで、安易に介護サービス等に繋げず、地域のサロンやいきいき百歳体操等の住民主体の通いの場への紹介に努めている。	3
	コストの節減	包括職員の訪問は中央小学校区を担当しており、他の地域は4か所の在宅介護支援センターへ委託している。包括は在介の取りまとめも行っており、在介委託料よりは、コストが高くなっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	早い段階からの支援につなげる必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	個別の訪問だけでなく、住民主体の自主グループへの訪問を実施していく。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	在宅介護支援センター、生活支援コーディネーターと連携し、地域の住民同士のつながりや助けあいを支援していく。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302024100		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	一般介護予防事業評価事業		予算事業名	一般介護予防事業評価事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		一般介護予防事業評価事業					
根拠法規及び関連法規		地域支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の者とその家族					
	誰(何)を対象として	66歳以上の者とその家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、その評価結果に基づき事業全体の改善を目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険事業計画の評価を行う上で、必要な項目を適切に選定し、地域の実情を把握するための調査を実施し、調査結果に基づいて評価を行い、計画の見直しを行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査配布数	件	2485	-	2295	-
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査回収数	件	2031	-	1934	-

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080		0	0.080	-		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	988,552	369,740	37	965,909	261	349,461	36	
	事業費	2,268,000		0	2,398,000	-		0	
	合計	3,256,552	369,740	11	3,363,909	910	349,461	10	
財源内訳	国庫支出金	567,000		0	599,500	-		0	
	県支出金	283,500		0	299,750	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他	1,134,000		0	1,199,000	-		0	
	一般財源	1,272,052	369,740	29	1,265,659	342	349,461	28	
合計	3,256,552	369,740	11	3,363,909	910	349,461	10		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		調査回収数							
指標説明(式)		介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のアンケート回収数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1920	-	-	2000	-	-	-	
	実績	2031	-	-	1934	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

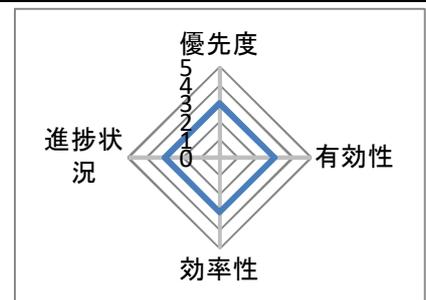
指標名1		調査1件あたりの委託料							
指標説明(式)		事業費÷アンケート回収数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	1181	-	-	1200	-	-	-	
	実績	1116	-	-	1239	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	老人福祉法及び介護保険法に基づく計画作成にかかるニーズ調査を行うものである。	3
効率性	執行体制の効率性	前回調査時に期間が短く十分な分析が行えなかったため、計画策定前年度である令和元年度に計画を策定するべく、ニーズ調査をおこなった。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	債務負担を設定し、2ヶ年度の契約を締結。他の多くの市町も同様のスケジュールであり、委託先の確保が困難。



配点	25
総合評価	15

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	今年度調査なし。次期計画時も前倒しでニーズ調査を実施していく。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直事項	次期計画時も計画策定前年度にニーズ調査を実施していく。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040100		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	地域包括支援センター運営事業	予算事業名	包括的支援事業	優先度	5
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	小西 まこと	担当者名	中村 美香
		取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市地域包括支援センター運営要綱、在宅介護支援センター運営事業実施要綱、生活支援コーディネーター設置要綱等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	高齢者が要介護状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における包括的な相談及び支援体制、多様な主体の参画による日常生活の支援体制、在宅医療と介護の連携体制及び認知症高齢者への支援体制の構築等を一体的に推進。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市医師会へ委託し、地域包括支援センターの運営、社会保障充実分(認知症・地域ケア会議・在宅医療介護連携等)事業を実施。包括のプランチとして市内4か所に在宅介護支援センターを設置。生活支援事業の推進の為、生活支援コーディネーターを配置。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	包括各種相談件数	件	11287	11036	10687	11000	
	介護予防(マネジメント)プラン作成	件	5047	5276	5231	5200	
	在介実態把握数	人	1053	1074	859	1000	
	生活支援コーディネーター	人	1	5	5	5	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.340	0.418	123	0.472	113	0.604	128	
	臨時職員			-		-	0.484	-	
支出内訳	人件費	2,995,232	3,477,152	116	3,862,789	111	5,585,257	145	
	事業費	53,427,048	56,766,968	106	55,317,091	97	54,615,000	99	
	合計	56,422,280	60,244,120	107	59,179,880	98	60,200,257	102	
財源内訳	国庫支出金	20,836,548	21,855,282	105	21,297,080	97	21,026,775	99	
	県支出金	10,418,274	10,927,641	105	10,648,540	97	10,513,387	99	
	市債			-		-		-	
	その他	11,753,950	13,056,402	111	12,722,930	97	12,561,450	99	
	一般財源	13,413,508	14,404,795	107	14,511,330	101	16,098,645	111	
	合計	56,422,280	60,244,120	107	59,179,880	98	60,200,257	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防給付ケアマネジメント件数+在宅医療介護連携件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	11287	11500	101.9	11000	95.7	11000	100.0	
	実績	11287	11036	97.8	10687	96.8			
指標名2		関係機関との会議・各種事業への参加・研修等の参加							
指標説明(式)		市・包括・在介・生活支援コーディネーター等の打合せや会議への参加回数。講師派遣、研修参加回数。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-	780	-	780	100.0	
	実績	772	787	101.9	726	92.2			

【効率性】

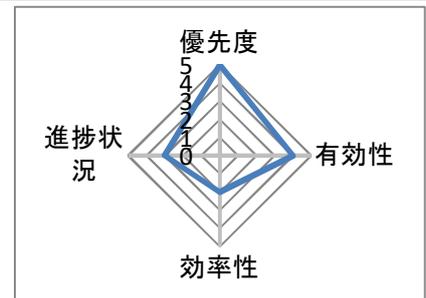
指標名1		高齢者1人当たりの包括支援センター委託料							
指標説明(式)		地域包括支援センター委託料÷65歳以上高齢者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	4427	4426	100.0	4297	97.1			
指標名2		在介実態把握の1件当たり委託料コスト							
指標説明(式)		在宅介護支援センター委託料÷実態把握訪問件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7500	7500	100.0	6000	80.0	6000	100.0	
	実績	6593	5586	84.7	5984	107.1			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	在宅介護支援センターや生活支援コーディネーターまた地域住民との連携強化が必要となる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	高齢者の総合相談機関として、また住み慣れた地域で生活継続を図るための介護予防機関として、在宅高齢者及びその家族の福祉増進が図られている。	
効率性	執行体制の効率性	個別課題については、高齢者からの相談を包括的に受けることで、各高齢者の情報の集約化と効率的な在宅サービスの提供が図られている。	2
	手段の最適性	新しい取り組みである社会保障充実分については、包括内だけでなくあらゆる関係機関との連携強化が必要となるが、包括内部の連携や情報伝達がうまくいっていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	社会保障充実分については、重点目標と年間スケジュールをたてることで、ある程度進んできたが、包括の職員間での連携や情報共有に課題がある。



配点	25
総合評価	19

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	三者(包括・在介・SC)連携強化の為、三者による住民主体の集いの場への訪問を実施。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	第2層生活支援コーディネーターの機能が思うように発揮されておらず、委託先の変更も含めて検討していく必要がある。				
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	拡大

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040200		事業の種類	1		
年度	1	事務事業名	市民後見推進事業		予算事業名	市民後見推進事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	小西 まこと	担当者名	中本 光早子
		取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人福祉法第32条の2						
事業の目的	誰のために(具体的に)	判断能力が不十分となった高齢者等及び家族						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		判断能力が不十分となった高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	成年後見支援センターとの連絡会の開催回数	回	6	8	6	6	
	市民後見人養成人数	人	4	1	0	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.148	123	0.088	59	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,297,272	1,261,820	97	1,468,429	116	1,009,197	69	
	事業費	1,790,109	1,221,535	68	1,480,487	121	1,543,000	104	
	合計	3,087,381	2,483,355	80	2,948,916	119	2,552,197	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,740,000	867,000	50	1,060,000	122	1,104,000	104	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,347,381	1,616,355	120	1,888,916	117	1,448,197	77	
合計	3,087,381	2,483,355	80	2,948,916	119	2,552,197	87		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		西播磨成年後見支援センターとの連絡会の開催回数							
指標説明(式)		西播磨成年後見支援センターとの連絡会の開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	8	133.3	6	75.0	
	実績	6	8	133.3	6	75.0			
指標名2		専門職による成年後見相談会の実施回数							
指標説明(式)		専門職による成年後見相談会の実施回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	1	50.0	2	200.0	1	50.0	
	実績	2	1	50.0	2	200.0			

【効率性】

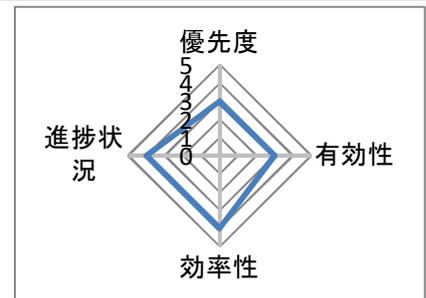
指標名1		事業費に対する市の負担割合							
指標説明(式)		事業費に対する市の負担割合							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3.9	4.2	107.7	28.5	678.6	28.5	100.0	
	実績	2.8	29.0	1035.7	28.4	97.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市民への後見制度及び市民後見人に対する普及啓発を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを図る。	3
	組織運営・適正管理	西播磨成年後見支援センターとの連絡会を定期的に開催し、センターの適正な運営、有効な活用に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	西播磨成年後見支援センターが設立されたことにより、専門職や他市町との連携がしやすくなり、より高度な相談に対応できる環境ができた。	4
	コストの節減	西播磨成年後見支援センターと協力することで、市だけでは開催が難しい市民後見人養成研修や講演会を毎年安定的に実施できるようになった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	市民後見人養成講座の周知



配点	25
総合評価	17

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	養成した市民後見の活動の場の検討、周知に努める。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	成年後見制度利用促進基本計画の策定に向けて、専門職や西播磨成年後見支援センター、西播磨4市3町との連携を強化するとともに、西播磨成年後見支援センターへの委託内容を再検討する必要がある。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010100		事業の種類	9		
年度	1	事務事業名	介護給付費準備基金積立金		予算事業名	介護保険事業		優先度
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	その他		担当課長	小西 まこと	担当者名	中村 美香
		取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市介護給付費準備基金条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護給付事務を円滑に進めるため						
	誰(何)を対象として	介護給付事務を円滑に進めるため						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護給付事務を円滑に進めるため						

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護給付費準備基金利子及び前年度繰越分の積立				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	積立金	円	25511850	44650432	38802968	534000

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.032	114	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	587,216	577,892	98	581,629	101	589,365	101	
	事業費	25,511,850	44,650,432	175	38,802,968	87	534,000	1	
	合計	26,099,066	45,228,324	173	39,384,597	87	1,123,365	3	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	25,511,850	44,650,432	175	38,802,968	87	534,000	1	
	一般財源	587,216	577,892	98	581,629	101	589,365	101	
合計	26,099,066	45,228,324	173	39,384,597	87	1,123,365	3		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

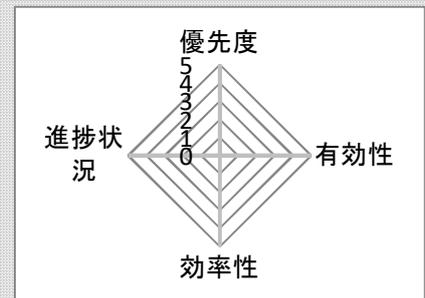
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	成果	総コスト		

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010200		事業の種類	9	
年度	1	事務事業名	還付金	予算事業名			優先度
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	財務部徴収対策室		
		施策名(中)	その他	担当課長	岡部 一成	担当者名	濱中 梨緒
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	介護保険法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課					

2 事業の概要 Do

実施の概要		保険料の還付					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	保険料還付人数	人	45	25	101	-	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.020	0.000	0	0.000	-	0.000	-	
	臨時職員		0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	525,472	369,740	70	374,709	101	349,461	93	
	事業費			-		-		-	
	合計	525,472	369,740	70	374,709	101	349,461	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	525,472	369,740	70	374,709	101	349,461	93	
合計	525,472	369,740	70	374,709	101	349,461	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

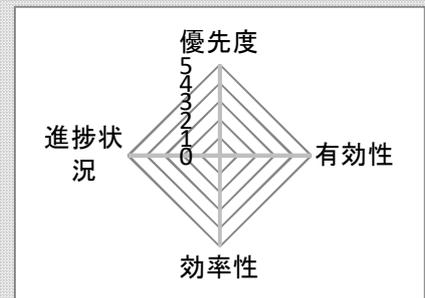
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	成果	総コスト		

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010300		事業の種類	9	
年度	1	事務事業名	償還金	予算事業名	介護保険事業		優先度
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	その他		担当課長	小西 まこと	
		取組み事項	その他		担当者名	中村 美香	
				実施計画への記載	無		主要事業の指定
					無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	国・県					
	誰(何)を対象として	国・県への返還金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務					

2 事業の概要 Do

実施の概要		事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
		円	6011214	0	1437500	0
	社会保険診療報酬支払基金償還金					
	国庫負担金償還金	円	27382976	15497821	12634517	6165056
	県費負担金償還金	円	5589490	0	8254887	2477691

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.036	100	0.056	156	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	648,960	637,364	98	640,749	101	769,293	120	
	事業費	38,983,680	15,497,821	40	22,326,904	144	1,000	0	
	合計	39,632,640	16,135,185	41	22,967,653	142	770,293	3	
財源内訳	国庫支出金	27,382,976	15,497,821	57	12,634,517	82	1,000	0	
	県支出金	5,589,490	0	0	8,254,887	-		0	
	市債		0	-	0	-		-	
	その他	6,011,214	0	0	1,437,500	-		0	
	一般財源	648,960	637,364	98	640,749	101	769,293	120	
	合計	39,632,640	16,135,185	41	22,967,653	142	770,293	3	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

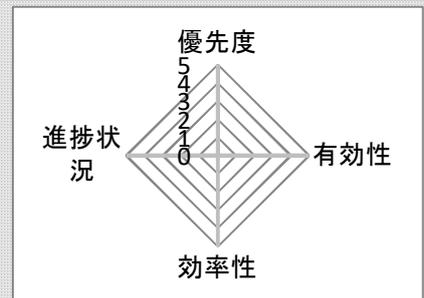
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	成果	総コスト		

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010400		事業の種類	9	
年度	1	事務事業名	予備費	予算事業名	介護保険事業		優先度
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	その他	担当課長	小西 まこと	担当者名	中村 美香
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険事業					
	誰(何)を対象として	介護保険事業の円滑化					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護保険事業の不測の事態に備えるため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険事業の不測の事態に備えるため				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	371,112	369,740	100	374,709	101	349,461	93	
	事業費	0	0	-	0	-	1,000,000	-	
	合計	371,112	369,740	100	374,709	101	1,349,461	360	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	371,112	369,740	100	374,709	101	1,349,461	360	
合計	371,112	369,740	100	374,709	101	1,349,461	360		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

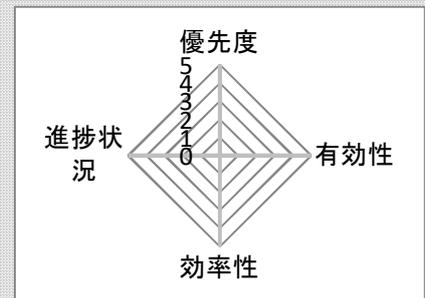
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	成果	総コスト		

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010500		事業の種類	9	
年度	1	事務事業名	予備費	予算事業名	予備費	優先度	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民生活部市民課		
		施策名(中)	その他	担当課長	佐原	担当者名	小林
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療保険特別会計					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療保険特別会計					
	意図(どのような状態にしたいのか)	予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため予備費を計上し、後期高齢者医療保険特別会計の安定的な運営を確保する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため予備費を計上する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	予備費	円	0	0	0	200000	

3 投入資源

会計区分 後期高齢者特別会計

事業費単位:円

インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員			-	0.000	-	0.000	-	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	371,112	369,740	100	374,709	101	349,461	93	
	事業費	0	0	-	0	-	200,000	-	
	合計	371,112	369,740	100	374,709	101	549,461	147	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	371,112	369,740	100	374,709	101	549,461	147	
合計	371,112	369,740	100	374,709	101	549,461	147		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

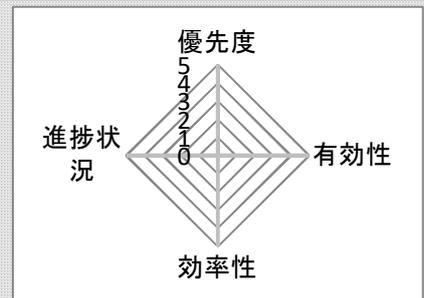
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	成果	総コスト		